

Oracle Portal

チュートリアル

リリース 3.0.8

2001 年 4 月

部品番号 : J02977-03

ORACLE®

Oracle Portal チュートリアル, リリース 3.0.8

部品番号 : J02977-03

原本名 : Oracle Portal Tutorial Release 3.0.8

原本部品番号 : A87567-01

原著者 : Susan Barton

原本協力者 : Marcie Caccamo, William Lanckenau, Steven Leung, David Mathews, Darren McBurney, Cheryl Smith, Indira Vidyaprakash, Vanessa Wang, Harry Wong, Hui Zeng

Copyright © 1996, 2000, Oracle Corporation. All rights reserved.

Printed in Japan.

制限付権利の説明

プログラム (ソフトウェアおよびドキュメントを含む) の使用、複製または開示は、オラクル社との契約に記載された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権に関する法律により保護されています。

当プログラムのリバース・エンジニアリング等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更されることがあります。オラクル社は本ドキュメントの無謬性を保証しません。

* オラクル社とは、Oracle Corporation (米国オラクル) または日本オラクル株式会社 (日本オラクル) を指します。

危険な用途への使用について

オラクル社製品は、原子力、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションを用途として開発されておりません。オラクル社製品を上述のようなアプリケーションに使用することについての安全確保は、顧客各位の責任と費用により行ってください。万一かかる用途での使用によりクレームや損害が発生いたしましても、日本オラクル株式会社と開発元である Oracle Corporation (米国オラクル) およびその関連会社は一切責任を負いかねます。当プログラムを米国国防総省の米国政府機関に提供する際には、『Restricted Rights』と共に提供してください。この場合次の Notice が適用されます。

Restricted Rights Notice

Programs delivered subject to the DOD FAR Supplement are "commercial computer software" and use, duplication, and disclosure of the Programs, including documentation, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement. Otherwise, Programs delivered subject to the Federal Acquisition Regulations are "restricted computer software" and use, duplication, and disclosure of the Programs shall be subject to the restrictions in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software - Restricted Rights (June, 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このドキュメントに記載されているその他の会社名および製品名は、あくまでその製品および会社を識別する目的にのみ使用されており、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

目次

Oracle Portal チュートリアルへようこそ	v
対象読者	v
前提条件	vi
チュートリアルのシナリオ	vi
マニュアルの構成	vii
関連マニュアル	vii
マニュアルの表記規則	viii
1 基本事項の習得	
1.1 Oracle Portal とは	1-2
1.2 Oracle Portal の起動とログイン	1-2
1.3 Oracle Portal ホーム・ページについて	1-5
1.4 ヘルプの参照	1-7
1.4.1 オンライン・ヘルプ・システムの使用方法	1-7
1.4.1.1 索引の使用方法	1-8
1.4.1.2 検索機能の使用方法	1-8
1.4.1.3 カテゴリとパースペクティブの使用方法	1-9
1.4.1.4 ヘルプ・システムの終了方法	1-9
1.4.2 フィールド・レベルのヘルプの使用方法	1-9
1.5 ナビゲータの使用	1-11
1.6 Oracle Portal のログオフと終了	1-12
1.7 レッソンのまとめ	1-12
2 ポータルの設計	
2.1 始める前に	2-1

2.2	ページの作成	2-2
2.3	ページへのポートレットの追加	2-4
2.3.1	フォルダ・ポートレットの追加	2-4
2.3.2	アプリケーション・コンポーネント・ポートレットの追加	2-6
2.3.3	Oracle Portal の組み込みポートレットの追加	2-7
2.4	ページへのアクセス権の提供	2-9
2.4.1	すべてのユーザーに対するアクセス権の付与	2-9
2.4.2	特定のユーザーに対するアクセス権の付与	2-9
2.4.3	ユーザー・グループに対するアクセス権の付与	2-10
2.5	レッスンのまとめ	2-11

3 コンテンツ領域の管理

3.1	始める前に	3-2
3.2	フォルダの作成	3-3
3.3	カテゴリの作成 (コンテンツ領域管理者のみ)	3-5
3.4	パースペクティブの作成 (コンテンツ領域管理者のみ)	3-6
3.5	スタイルの作成とフォルダへのスタイルの適用	3-7
3.5.1	スタイルの作成	3-7
3.5.2	スタイル・プロパティの編集	3-8
3.5.3	フォルダへのスタイルの適用	3-10
3.6	ナビゲーション・バーの作成とフォルダへのナビゲーション・バーの適用	3-11
3.6.1	ナビゲーション・バーの作成	3-11
3.6.2	ナビゲーション・バーへの要素の追加	3-12
3.6.3	フォルダへのナビゲーション・バーの適用	3-14
3.7	コンテンツ領域へのアクセス制御	3-15
3.7.1	すべてのユーザーに対するアクセス権の付与	3-16
3.7.2	特定のユーザーに対するアクセス権の付与	3-17
3.7.3	複数のユーザーに対するアクセス権の付与	3-18
3.8	レッスンのまとめ	3-19

4 コンテンツ領域へのアイテムの追加

4.1	始める前に	4-2
4.2	フォルダへのアイテムの追加	4-2
4.2.1	別の Web ページや Web サイトへのリンクの追加	4-3
4.2.2	テキストの追加	4-6

4.2.3	データへのアクセス権の追加	4-9
4.3	アイテムの編集	4-11
4.4	レッスンのまとめ	4-13

5 アプリケーション・コンポーネントの構築

5.1	始める前に	5-1
5.2	アプリケーション・コンポーネントの作成	5-2
5.2.1	フォームの作成	5-3
5.2.2	レポートの作成	5-12
5.2.3	チャートの作成	5-18
5.3	アプリケーション・コンポーネントへのアクセス制御	5-21
5.4	レッスンのまとめ	5-22

A チュートリアルの設定

A.1	デモ用のスキーマ、コンテンツ領域およびアプリケーションのインストール	A-1
A.2	HLW_EMPLOYEE ユーザーの作成	A-1
A.3	HLW_HR グループの作成	A-2
A.4	ユーザーを Tutorial コンテンツ領域のコンテンツ領域管理者に割り当てる	A-2
A.5	ユーザーに対して、Tutorial コンテンツ領域の For Our Employees フォルダへの「アイテムの管理」権限を付与する	A-3
A.6	ユーザーに対してチュートリアル・アプリケーションへの「管理」権限を付与する	A-3
A.7	アプリケーション・コンポーネントを生成して実行する	A-4

用語集

索引

Oracle Portal チュートリアルへようこそ

Oracle Portal チュートリアルへようこそ。このマニュアルは、Oracle Portal リリース 3.0 の概要を説明します。

この章の内容：

項	場所
「対象読者」	v ページ
「前提条件」	vi ページ
「チュートリアルのシナリオ」	vi ページ
「マニュアルの構成」	vii ページ
「関連マニュアル」	vii ページ
「マニュアルの表記規則」	viii ページ

対象読者

このマニュアルは、Oracle Portal の新規ユーザーを主な対象としており、製品とその機能について簡単に説明します。また、Oracle Portal の新しい機能を習得する必要があるユーザーにも役立ちます。

この章を読み終えたら、第 1 章「基本事項の習得」に進み、Oracle Portal の基本的な使用方法を習得する必要があります。その後該当する作業に関連した章をお読みください。目的の章を探すには、vii ページの「マニュアルの構成」を参照してください。

すでに Oracle Portal に習熟し、より詳細な例をいくつか必要とする場合は、『Oracle Portal 3.0.8 ポータル構築ガイド』を参照してください。

前提条件

このチュートリアル内の例では、デモ用のスキーマ、コンテンツ領域およびアプリケーションを使用します。これらのデモのインストール・スクリプト（英語版）は、<http://otn.oracle.co.jp/> から入手できます。詳細については、ポータル管理者に問い合わせるか、[A-1 ページの A.1 項「デモ用のスキーマ、コンテンツ領域およびアプリケーションのインストール」](#)を参照してください。

ご使用のマシンに Web ブラウザがインストールされている必要があります。最小要件は次のとおりです。詳細については、『Oracle Portal リリース・ノート』を参照してください。

- Microsoft Internet Explorer 4.0.1（サービス・パック 1）または 5.01
- Netscape Communicator 4.0.8 または 4.72

Web ブラウザの使い方に関する知識が必要です。たとえば、Web ブラウザの起動方法や、ハイパー・テキスト・リンクなどの基本的なユーザー・インタフェース要素を理解する必要があります。

次の情報を用意するか、ポータル管理者から入手する必要があります。

- Oracle Portal にログインするためのユーザー名とパスワード
- Oracle Portal のホーム・ページの URL

また、[第 5 章「アプリケーション・コンポーネントの構築」](#)を利用するときには、PL/SQL とデータベースの概念に関する基本的な知識が必要です。

チュートリアルのシナリオ

このチュートリアルでは、読者は健康とフィットネスに関する製品を提供する Healthy Living Wholesalers 社の社員です。

Healthy Living Wholesalers 社は、社員が使用頻度の高いコンテンツやアプリケーションに迅速にアクセスできるように、イントラネットのポータルを必要としています。また、企業やその製品に関する情報、社員と顧客が必要とする情報など、あらゆる情報を 1 つのリポジトリに格納する必要があります。さらに、Healthy Living Wholesalers 社の人事部門では、自社の社員に関する情報の照会や更新が行えるアプリケーションも必要になります。このチュートリアルでは、これらの要件を満たすために、Healthy Living Wholesalers 社内にいるいくつかの役割が用意されていると想定します。

マニュアルの構成

このチュートリアルに記載されている例をすべて行う必要はありません。次の表に、このチュートリアルに含まれている章の一覧と、各章の例を行う必要があるユーザーのタイプを示します。社内で実際に必要となる業務に関連した章と例を参照してください。

章 / 付録	内容	対象読者
第 1 章「基本事項の習得」	Oracle Portal の起動方法や操作方法に関するレッスン	すべてのユーザー
第 2 章「ポータルの設計」	ポータルのフロントエンドのページを作成する方法に関するレッスン	会社のポータルの構築を担当するユーザー（ポータル管理者）
第 3 章「コンテンツ領域の管理」	コンテンツ領域やフォルダの設定方法に関するレッスン	コンテンツ領域やコンテンツ領域内のフォルダの管理を担当するユーザー（コンテンツ領域管理者またはフォルダ所有者）
第 4 章「コンテンツ領域へのアイテムの追加」	コンテンツ領域にコンテンツを追加する方法に関するレッスン	コンテンツ領域にコンテンツを追加するユーザー（コンテンツ協力者）
第 5 章「アプリケーション・コンポーネントの構築」	アプリケーションの作成方法に関するレッスン	会社のアプリケーションの作成を担当するユーザー（ポータル開発者）
付録 A「チュートリアルの設定」	このチュートリアルの環境設定に関する指示	このチュートリアルのユーザーに対する権限の割当てを担当するユーザー

関連マニュアル

詳細は、次のマニュアルを参照してください。

- 『Oracle Portal 構成ガイド』
- 『Oracle Portal ポータル構築ガイド』

マニュアルの表記規則

このマニュアルでは、次の表記規則を使用します。

表記規則	意味
太字	太字のテキストは、本文、用語集または両方で定義されている用語を示します。 また、ボタン名、ラベル、リンクなどのユーザー・インタフェース要素も示します。
固定幅フォント	固定幅フォントのテキストは、入力が必要なテキストを示します。
斜体のテキスト	斜体のテキストは、強調を表したり、他のマニュアルとの相互参照を示すのに使用されます。
<>	山カッコは、ユーザーが指定する名前を囲むのに使用されます。該当する値に置き換えてください。

1

基本事項の習得

推定所要時間： 25 分

この章では、Oracle Portal の基本概念と操作の基本について説明します。ここでは、Oracle Portal の内容、Oracle Portal の起動およびログイン方法、ログイン後の操作方法、ヘルプの表示方法（特定のタスクの実行方法が不明な場合）を習得します。

この章の内容：

項	場所
1.1 項「Oracle Portal とは」	1-2 ページ
1.2 項「Oracle Portal の起動とログイン」	1-2 ページ
1.3 項「Oracle Portal ホーム・ページについて」	1-5 ページ
1.4 項「ヘルプの参照」	1-7 ページ
1.5 項「ナビゲータの使用」	1-11 ページ
1.6 項「Oracle Portal のログオフと終了」	1-12 ページ
1.7 項「レッスンのまとめ」	1-12 ページ

1.1 Oracle Portal とは

ポータルとは、ユーザーがコンテンツ領域、外部の Web サイト、他のアプリケーション、ニュースフィードなどの有効な情報にアクセスできるようにするための、Web ベースのアプリケーションのことです。ポータルという用語には様々な機能の意味が含まれますが、その定義の中心は、パーソナライズされたビューをサポートする機能です。つまり、各ユーザーやユーザー・グループは、ポータルのコンテンツと外観をそれぞれの設定や要件に応じて調整できます。

Oracle Portal を使用すると、情報ポータルから構成される Web ページを動的に作成および管理することにより、ユーザーの経験を明確にできます。**ポータル**を使用すると、Web ベースのリソースにアクセスできます。つまり、任意の Web ページ、アプリケーション、ビジネス・インテリジェンス・レポート、シンジケート・コンテンツ・フィードなどのリソースに対して、ポータル経由でアクセスできます。このため、ポータルをパーソナライズし、Oracle Portal のサービスとして管理することができます。ページ定義とパーソナライズの機能を使用すると、汎用ページやコミュニティ専用ページを作成および管理しても、標準化されている企業の外観を保持することができます。グループや個人の権限を拡張して、ユーザーがページをパーソナライズし、固有のビューを作成できます。

Oracle Portal には、セルフサービス・ツールが組み込まれています。このツールを使用して、ポータル・レジストリ内の情報を直接管理したり、一般のユーザー・コミュニティに公開できます。**コンテンツ領域**では、ビジネス文書や他のファイル・タイプのコンテンツを簡単にアップロード、編成および管理できます。専門知識や HTML の知識は必要ありません。**コンポーネント**では、Oracle データベース内で管理されるデータの表示や対話処理を行うための各種アプリケーション・コンポーネント (Web フォーム、チャート、レポートなど) をすばやく簡単に作成できます。コンテンツ領域とコンポーネントが完了したら、ポータルとして簡単に公開できます。

1.2 Oracle Portal の起動とログイン

Oracle Portal は、すべて Web ベースのアプリケーションで構成されています。つまり、Web ブラウザで Oracle Portal のホーム・ページにアクセスして、Oracle Portal を起動できます。

1. Web ブラウザを起動します。

Oracle Portal がご使用のブラウザに対応しているかどうか不明な場合は、[vi ページ](#)の「**前提条件**」を参照してください。

2. ブラウザの「アドレス」フィールドまたは「場所」フィールドに、Oracle Portal のホーム・ページの URL を入力し、[Enter] キーまたはリターン・キーを押します。

注意: Oracle Portal のホーム・ページの URL が不明な場合は、ポータル管理者に問い合わせてください。

「Oracle Portal へようこそ」ページが表示されます。

ヒント: このページをお気に入りとしてブックマークに追加しておくことをお勧めします。このページにアクセスするときに、URL を入力する必要がなくなります。ブックマークへの追加方法が不明な場合は、ご使用の Web ブラウザのマニュアルを参照してください。

このページでは、Oracle Portal に関する情報にはアクセスできますが、Oracle Portal のツールにはアクセスできません。この時点ではユーザーの認証がまだ行われていないために、**パブリック・ユーザー**と見なされ、アクセスする権利があるかどうかを Oracle Portal では判断できないためです。Oracle Portal のツールにアクセスするには、ログインしてから、**許可されたユーザー**として認証されなければなりません。

3. 「Oracle Portal へようこそ」ページの右上にある「ログイン」をクリックします。
4. 「ユーザー名」と「パスワード」を入力します。

注意: ユーザー名またはパスワードが不明な場合は、ポータル管理者に問い合わせてください。

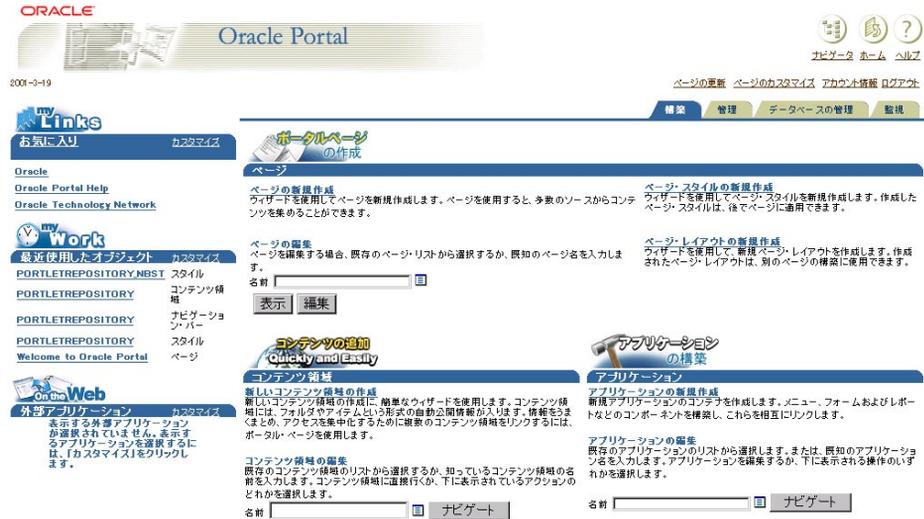
シングル・サインオン

ログインに使用するシングル・サインオン・ユーザー名およびパスワードを入力します。

ユーザー名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>

5. 「ログイン」をクリックします。

パーソナライズされた Oracle Portal ホーム・ページが表示されます。エラー・メッセージを受け取った場合は、ログイン情報を正しく入力したことを確認したり、ポータル管理者に確認してください。



Oracle Portal のホーム・ページには、ここで示した図と異なる画面が表示されることがあります。ホーム・ページの外観は、ユーザーの権限やカスタマイズの方法によって変わります。

注意:ここで示した図は、デフォルトのホーム・ページが Oracle Portal のホーム・ページであることを前提としています。デフォルトのホーム・ページを別のページにした場合は、ナビゲータを使用して「トップレベルのページ」の「Oracle Portal ホーム・ページ」に移動できます。ナビゲータの使用方法については、1-11 ページの 1.5 項「ナビゲータの使用」を参照してください。

1.3 Oracle Portal ホーム・ページについて

Oracle Portal のホーム・ページは、ポータル構築環境へのポータルです。このホーム・ページとその機能については、すぐに習得できます。

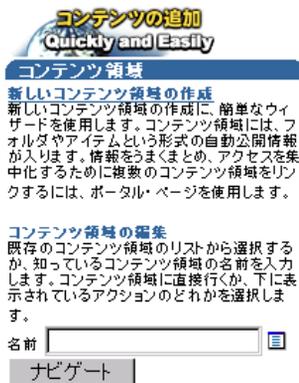
このホーム・ページは、いくつかの独立したタブに分かれており、関連した機能によってまとめられています。ホーム・ページで利用できるタブはユーザーの権限によって異なるため、次のタブがすべて表示されるとは限りません。タブを表示するには、該当するリンクをクリックします。



- 「構築」タブには、ページ、コンテンツ領域およびアプリケーションを構築するためのツールがあります。
- 「管理」タブには、ユーザーやグループの作成、グローバル設定など、Oracle Portal を管理するためのツールがあります。このタブにアクセスできるのは、データベースとポータルの管理者に限られます。
- 「データベースの管理」タブには、スキーマの作成、データベース権限の付与、データベース・パフォーマンスの監視など、データベースを管理するためのツールがあります。このタブにアクセスできるのは、データベース管理者に限られます。
- 「監視」タブには、ページ、コンテンツ領域およびアプリケーションを監視するためのツールがあります。

ポートレット

ホーム・ページの各タブは、Oracle Portal のツールにアクセスするためのポートレットから構成されています。たとえば、「構築」タブの「コンテンツ領域」ポートレットを使用すると、コンテンツ領域構築ツールにアクセスできます。



コンテンツの追加
Quickly and Easily

コンテンツ領域

新しいコンテンツ領域の作成
新しいコンテンツ領域の作成に、簡単なウィザードを使用します。コンテンツ領域には、フォルダやアイテムという形式の自動公開情報が入ります。情報をうまくまとめ、アクセスを集中化するために複数のコンテンツ領域をリンクするには、ポータル・ページを使用します。

コンテンツ領域の編集
既存のコンテンツ領域のリストから選択するか、知っているコンテンツ領域の名前を入力します。コンテンツ領域に直接行くか、下に表示されているアクションのどれかを選択します。

名前

ナビゲート

表示されるポートレットは、ユーザーの権限によって異なります。たとえば、「アプリケーション」ポートレットは、アプリケーションの構築権限を持っている場合にのみ表示されます。

一部のポートレットをカスタマイズして、ホーム・ページ上での表示方法を変更できます。たとえば、「お気に入り」ポートレットをカスタマイズすることにより、お気に入りの新しいリンクを追加したり、表示するお気に入りのリンク数を指定できます。



お気に入り カスタマイズ

[Oracle](#)

[Oracle Portal Help](#)

[Oracle Technology Network](#)

ショートカット・バー

ページの右上にあるショートカット・バーを使用すると、次の場所にすばやく移動できます。

-  ナビゲータ。ここからすべての Oracle Portal オブジェクトにアクセスできます。ナビゲータの使用方法については、[1-11 ページの「ナビゲータの使用」](#)を参照してください。
-  ホーム。Oracle Portal のホーム・ページへ移動できます。
-  ヘルプ。Oracle Portal のオンライン・ヘルプ・システム。ヘルプ・システムの使用方法については、[1-7 ページの「ヘルプの参照」](#)を参照してください。

1.4 ヘルプの参照

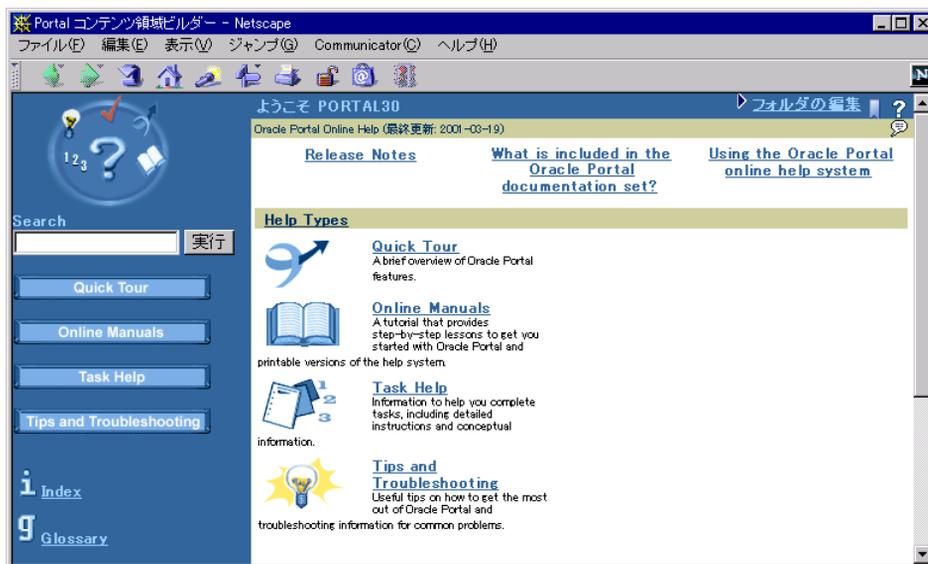
Oracle Portal では、次の2つの方法でヘルプを参照できます。

- オンライン・ヘルプ・システム。ステップごとの詳細な指示や参照情報のほかに、Oracle Portal の概要やトラブルシューティング情報も参照できます。オンライン・ヘルプ・システムにアクセスするには、任意のページの一番上にあるショートカット・バーの  をクリックします。
- フィールド・レベルのヘルプ。現在のページに表示されているフィールドに関する特定の情報を参照できます。フィールド・レベルのヘルプにアクセスするには、そのページにある  をクリックします。

1.4.1 オンライン・ヘルプ・システムの使用法

次の例では、オンライン・ヘルプ・システムの概要を説明し、実際にその中の情報を様々な方法で検索してみます。

1. ページの一番上にあるショートカット・バーで、 をクリックして新しいブラウザ・ウィンドウにオンライン・ヘルプ・システムを表示します。



2. 左側のナビゲーション・バーで、「Task Help」をクリックします。
3. 「The Basics」をクリックします。
4. 「What is Oracle Portal?」をクリックします。

新しいブラウザ・ウィンドウに、**概念トピック**が表示されます。このトピックには、Oracle Portal に関する情報が載っています。

- トピックの終わりまで下へスクロールします。
ほとんどのトピックには「関連項目」セクションがあり、関連する他のトピックへのリンクが載っています。
- 「ページとは」をクリックします。
- ここも、概念トピックです。「関連項目」セクションで、「ページの作成」をクリックします。
タスク・トピックが表示されます。ページの作成に必要な手順がすべて記述されています。
- ヘルプ・トピックが表示されているウィンドウを閉じます。

1.4.1.1 索引の使用方法

トピックが入っているフォルダが不明な場合があります。その場合は、索引を使用してそのトピックを検索することができます。

- ナビゲーション・バーで、「index (索引)」をクリックします。
- 「へ」をクリックします。
- 「ページ (page)」が表示されるので、「定義」をクリックします。
すでに説明した「ページとは」が表示されます。
- ブラウザの「戻る」ボタンを3回クリックして、ヘルプ・システムのナビゲーション・バーが表示されているページに戻ります。

1.4.1.2 検索機能の使用方法

別の方法として、検索機能も使用できます。

- ナビゲーション・バーの「Search」フィールドに「page」と入力し、「実行」をクリックします。



検索結果として、「What is a page?」トピックなど、「page」という語を含む表示名、説明またはキーワードが載っているトピックがすべて表示されます。

注意: *interMedia Text* をインストールして使用可能になっている場合、*interMedia Text* 索引が作成されていれば、各トピックの内容も検索されます。

-  をクリックして、ヘルプ・システムのホーム・ページに戻ります。

1.4.1.3 カテゴリとパースペクティブの使用法

ヘルプ・システムの各トピックは、記載されている情報の種類に従って分類されています。また、ヘルプ・システムでは、パースペクティブに基づいて、Oracle Portal ユーザーのタイプに関連するトピックが識別されます。

1. ページに関連するタスクをすべて表示するには、ナビゲーション・バーの「Categories」リストから「Page Tasks」を選択し、「実行」をクリックします。



2. ポータル管理者に関連するタスクをすべて表示するには、ナビゲーション・バーの「Perspectives」リストから「Portal Admin」を選択し、「実行」をクリックします。



1.4.1.4 ヘルプ・システムの終了方法

タスク・ヘルプと同様に、ヘルプ・システムにもクイック・ツアーがあります。クイック・ツアーでは、Oracle Portal、このチュートリアルを含むオンライン・マニュアルへのアクセス方法、共通の問題や要件に関するヒントやトラブルシューティングについて説明します。タスク・ヘルプやヘルプ・システムにアクセスするには、ナビゲーション・バーのボタンをクリックします。

ヘルプ・システムを終了するときは、ブラウザ・ウィンドウを閉じます。

1.4.2 フィールド・レベルのヘルプの使用法

次の例では、フィールド・レベルのヘルプの概要を説明し、実際に使用してみます。

1. ページの一番上にあるショートカット・バーで、 をクリックします。
2.  をクリックして、新しいブラウザ・ウィンドウにフィールド・レベルのヘルプ・トピックを開きます。


[関連項目](#)

「ページ」タブを使用して、ページの作成および管理ができます。

「トップ・レベルのページ」には、ポータル管理者(またはすべてのページの「管理」権限を保持するユーザー/グループ)により、広範な読者を対象とすると判断されたページが含まれます。「マイ・ページ」は、ユーザーが作成したページを保存する私的な倉庫です。「ユーザー・ページ」には、アクセス権のあるその他のユーザーが作成したすべてのページが含まれます。アクセス権は、ページ作成者のユーザーIDの先頭文字で区別されます。

このページに表示されるアイテム

パス	現在表示されているタブのパスです。このページでは、パスは常に「ページ」(このタブの名前)になります。
タイプ	コンテナ内に常駐するオブジェクトのタイプを示します。コンテナ・オブジェクトを示すアイコンは、  です。
名前	コンテナの名前(トップ・レベルのページ、マイ・ページなど)。

このトピックには、現在のページに表示されているあらゆるフィールド、ボタンおよびリンクに関する情報が載っています。

3. トピックの終わりまで下へスクロールします。

ほとんどのフィールド・レベルのヘルプ・トピックには、「関連項目」セクションがあります。このセクションには、詳細情報が必要な場合に備えて、タスク・トピックや参照トピックへのリンクが含まれています。

4. フィールド・レベルのヘルプ・トピックを終了するときは、ブラウザ・ウィンドウを閉じます。

1.5 ナビゲータの使用

ナビゲータは、Oracle Portal の全オブジェクトのほかに、すべてのパブリック・ユーザーが利用できるオブジェクトにもアクセスできる強力なツールです。

1. 「ナビゲータ」ページが表示されていない場合は、ページの一番上にあるショートカット・バーで  をクリックします。
2. Oracle Portal セッションの間（ログイン～ログオフ）、ナビゲータは最後に使用したときに表示されていたタブを記憶しています。

ナビゲータの「ページ」タブが表示されていない場合は、「ページ」をクリックします。

3. ルート・レベルで表示していない場合は、「パス」の「ページ」をクリックします。
4. ナビゲータによって、ユーザーが利用できるオブジェクト、およびそれらのオブジェクトに対して実行できる操作の一覧が表示されます。操作の一覧は、ユーザーの権限によって変わります。オブジェクトを表示したり、オブジェクト内をドリルダウンするには、その名前をクリックします。

他にもいくつかのページがあります。「トップ・レベルのページ」をクリックしてドリルダウンします。

5. アクセスできる**トップ・レベルのページ**、およびそれらのページに対して実行できる操作の一覧が表示されます。トップ・レベルのページとは、ポータル管理者が多数のユーザーによってアクセスされると見なしているページのことです。

「Inside Healthy Living」をクリックして、「Healthy Living」ポータルを表示します。

6. ブラウザの「戻る」ボタンをクリックして、ナビゲータに戻ります。
7. 検索しているオブジェクトの名前または名前の一部がわかる場合は、ナビゲータの現行タブを検索してそのオブジェクトを見つけ出すことができます。

「コンテンツ領域」タブをクリックします。

8. 「検索」フィールドに、healthy と入力します。
9. 「実行」をクリックします。

「healthy」という語を含む、すべてのコンテンツ領域、フォルダ、カテゴリ、スタイルなどが、ナビゲータに表示されます。

10. 「閉じる」をクリックします。

1.6 Oracle Portal のログオフと終了

Oracle Portal を終了するには、Web ブラウザを閉じるか、Oracle Portal 以外のページに移動します。

- Web ブラウザを閉じた場合は、Oracle Portal も自動的にログオフされます。
- Oracle Portal 以外のページに移動した場合は、Oracle Portal はログオフされません。このため、Oracle Portal のページに戻るときに、再度ログインする必要はありません。セキュリティ上の理由により、Oracle Portal をログオフしてから、Oracle Portal 以外のページに移動することをお勧めします。
- Oracle Portal をログオフするには、ページの右上にある「ログアウト」をクリックします。

1.7 レッソンのまとめ

おめでとうございます。このチュートリアル最初のレッスンが完了しました。これで、次に示す Oracle Portal の基本的な操作方法を習得できました。

- Oracle Portal の起動とログイン
- Oracle Portal のホーム・ページの使用
- オンライン・ヘルプ・システムとフィールド・レベルのヘルプの使用
- ナビゲータの使用
- Oracle Portal のログオフと終了

Oracle Portal の使用方法に関するその他の例については、このチュートリアルを続けてお読みください。目的の章を探すには、[vii ページ](#)の「[マニュアルの構成](#)」を参照してください。

Oracle Portal で実行できる処理の詳細な例は、『Oracle Portal ポータル構築ガイド』を参照してください。

Oracle Portal の基本事項に関する他の情報は、Oracle Portal のオンライン・ヘルプを参照してください。

ポータル設計

推定所要時間： 30分

ポータルとは、第1章「基本事項の習得」で定義したように、ユーザーがコンテンツ領域、外部のWebサイト、他のアプリケーション、ニュースフィードなどの有効な情報にアクセスできるようにするための、Webベースのアプリケーションのことです。

この章では、Oracle Portal のポータル構築機能を理解するために、Healthy Living Wholesalers 社という架空の会社に対して社員のポータル・ページを作成する手順について説明します。ポータルの作成を担当するユーザー（ポータル管理者）は、次の例を使用して手順を確認する必要があります。

この章の内容：

項	場所
2.1 項「始める前に」	2-1 ページ
2.2 項「ページの作成」	2-2 ページ
2.3 項「ページへのポートレットの追加」	2-4 ページ
2.4 項「ページへのアクセス権の提供」	2-9 ページ
2.5 項「レッスンのまとめ」	2-11 ページ

2.1 始める前に

Oracle Portal を起動し、ログインする必要があります。この方法については、[1-2 ページの 1.2 項「Oracle Portal の起動とログイン」](#)を参照してください。

2.2 ページの作成

ページはポータルへの入口です。つまり、ポータルによって提供される情報と対話するときには、ページを表示して使用します。

ここでは、ポータル管理者が Healthy Living Wholesalers 社の IT 部門に勤務していると想定します。ポータルを作成して、Healthy Living Wholesalers 社の社員が企業情報やアプリケーションのみでなく、使用頻度の高い外部情報にも一元的にアクセスできるような環境を用意するように依頼されています。最初に、この情報の入口の役目をするページを作成する必要があります。

1. ショートカット・バーで、 をクリックします。
2. ナビゲータの「ページ」タブが表示されていない場合は、「ページ」をクリックします。
3. ルート・レベルで表示していない場合は、「パス」の「ページ」をクリックします。
4. 「マイ・ページ」行で、「新規作成」をクリックします。
5. 「名前」フィールドに <YourName>healthyliving と入力します。YourName には自分のユーザー名を指定します。

注意: このチュートリアル全体を通じて、名前と表示名の先頭に自分のユーザー名を追加して、作成中のオブジェクトが一意であるようにしておくこと、後で検索しやすくなります。

6. 「表示名」フィールドに、<YourName>'s Healthy Living Page と入力します。

ページのプロパティ

ページの名前(内部でのみ使用)および表示名(トップ・ページのバナー)を指定します。必要に応じて、「説明」フィールドにページに関する説明を入力します。説明は、ページの編集時にだけ表示されます。

名前	scotthealthliving
表示名	Scott's Healthy Living Page
説明	

7. ページのその他の項目では、デフォルト値を使用します。「次へ」をクリックします。

- 「レイアウト・テンプレート」リストで、「2列レイアウト」を選択します。

ページ・レイアウトによって、作成するページの行数と列数が決定されます。これらの行と列によって、領域と呼ばれる四角いエリアがいくつか作られ、この中にコンテンツが入ります。

- 「スタイル」リストで、「ユーザーのデフォルト・スタイルを使用」を選択します。

ページ・スタイルによって、作成するページに表示される色とフォントが決定されます。

ページのレイアウトとスタイル

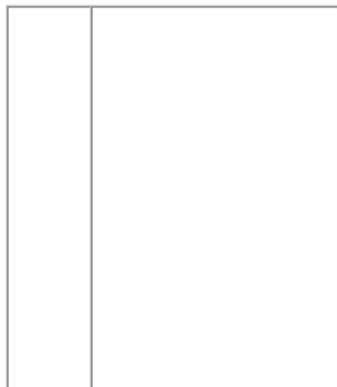
ページのレイアウト・テンプレートを選択します。レイアウト・テンプレートにより、ページの領域の数および設定が決まります。各領域には、1つ以上のポートレットを含めることができます(次のステップで指定)。次に、ページのスタイルを選択します。ページ・スタイルにより、ページのコンテンツ、バナーおよびリンクの色やフォントが決まります。

レイアウト・テンプレート:

2列レイアウト

スタイル:

<ユーザーのデフォルト・スタイルを使用>



このページでは、ユーザーのデフォルト・スタイルが使用されます。

- 「完了」をクリックします。

新しいページが表示されます。ただし、レイアウトによって指定された2つの列は、このページにコンテンツを追加するまで表示されません。

2.3 ページへのポートレットの追加

ポートレットは、Web ベースの情報リソースを表し、それらへのアクセス方法を提供します。つまり、ポートレット経由で、Web ページ、アプリケーション、ビジネス・インテリジェンス・レポート、シンジケート・コンテンツ・フィードなどのリソースにアクセスできます。また、Oracle Portal では Web 公開サービスも提供しており、Oracle Portal によって管理されるコンテンツのポートレットを作成および管理することができます。

2.3.1 フォルダ・ポートレットの追加

ここでは、Healthy Living の社員ページから、会社に関する情報にアクセスできるようにします。Oracle Portal のコンテンツ領域公開サービスを使用して、そのようなポートレットを簡単に作成できます。この例では、ポートレットはすでに作成されているため、すでに作成したページにそのポートレットを追加します。

注意：このようなコンテンツ領域の作成方法については、[第3章「コンテンツ領域の管理」](#)を参照してください。

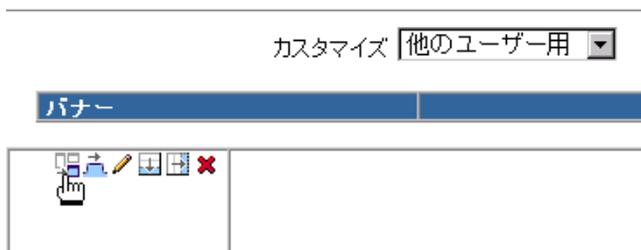
1. <Your Name>'s Healthy Living Page の一番上で、「ページのカスタマイズ」をクリックします。

ヒント：このページが現在表示されていないときは、ナビゲータでそのページを検索し、「編集」をクリックしてカスタマイズします。

2. 「カスタマイズ」リストで、「他のユーザー用」が選択されていることを確認します。

このオプションを選択すると、変更した内容がユーザー自身のみでなく、このページのすべてのユーザーに表示されます。

3. 左側の領域で、 をクリックします。



4. ルート・レベルが表示されていない場合は、ウィンドウの一番下にあるパスで「ポートレット・リポジトリ」をクリックします。

「ポートレット・リポジトリ」は、Oracle Portal によって作成されるコンテンツ領域の1つで、プロバイダ別に利用できるポートレットをすべて表示します。

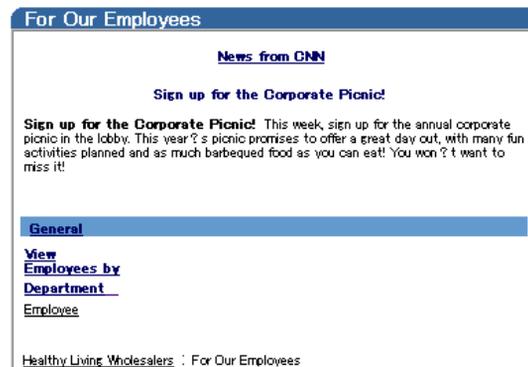
5. 「他のプロバイダ」で、「HLW」をクリックします。

6. 「For Our Employees」フォルダの横にある ▶ をクリックします。



7. 「OK」をクリックします。
8. 「閉じる」をクリックします。

Healthy Living Wholesalers 社のコンテンツ領域のホーム・ページに、このレポートを含むポートレットが表示されます。

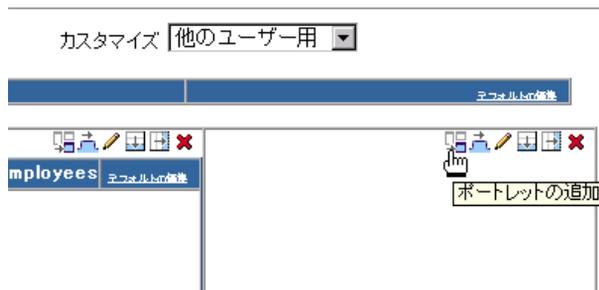


2.3.2 アプリケーション・コンポーネント・ポートレットの追加

ここでは、Healthy Living Wholesalers 社の社員が、勤務先の会社や部門に所属する社員に関する情報にアクセスできるようにします。Oracle Portal のコンポーネント公開サービスを使用すると、そのようなポートレットを簡単に作成できます。この例では、ポートレットはすでに作成されており、すでに作成したホーム・ページにそのポートレットを追加します。

注意：このようなコンポーネントの作成方法については、第 5 章「アプリケーション・コンポーネントの構築」を参照してください。

1. <Your Name>'s Healthy Living Page の一番上で、「ページのカスタマイズ」をクリックします。
2. 「カスタマイズ」リストで、「他のユーザー用」が選択されていることを確認します。
3. 右側の領域で、 をクリックします。



4. ルート・レベルが表示されていない場合は、ウィンドウの一番下にあるパスで「ポートレット・リポジトリ」をクリックします。
5. 「他のプロバイダ」で、「TUTORIAL30_APPLICATION」をクリックします。
6. 「TUTORIAL_HRREPORT」（部門別に社員を表示）レポートの横にある  をクリックします。



7. 「OK」をクリックします。

- 「閉じる」をクリックします。

このレポートを含むポートレットが、ページに表示されます。

View Employees by Department Customize		
Department No	Name	Job
10 Head Office	20 Kathleen Bayyat	President - Manufacturing
	30 Robert Rodriguz	President - Sales
	40 Edward Shields	Chief Financial Officer
	50 Lance Bettin	President - Information Technology
	60 Michael Kezouit	President - Development
	70 Ashok Sasaki	President - Inventory
20 Manufacturing	89 Omar Bakshi	Personal Assistant
	90 Gilberto Teramura	Lead Graphic Artist
	100 Lisa Williams	Graphic Artist
	110 Jan Francois Stewart	Graphic Artist
	120 Kirk Takeuchi	Graphic Artist
	130 Jim Garusi	Graphic Artist
	140 Anna Church	Visual Media Producer
	150 Anthony Grippando	Production Assistant
	160 Nadeem Nayakanti	Camera Operator
	170 Christina Moff	Camera Operator
	180 Michael Bradley	Sound Engineer
	190 Maik Gilchrist	Director
	210 Kenneth R Marjanovic	Production Assistant
230 Forrest Norris	CBT Technician	

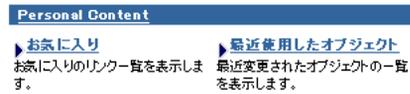
Next

2.3.3 Oracle Portal の組み込みポートレットの追加

最後に、Healthy Living Wholesalers 社の社員が、お気に入りの Web サイトやページのリストにアクセスできるようにします。Oracle Portal に組み込まれている「お気に入り」ポートレットを使用すると、そのようなポートレットを簡単に作成できます。

- <Your Name>'s Healthy Living Page の一番上で、「ページのカスタマイズ」をクリックします。
- 「カスタマイズ」リストで、「他のユーザー用」が選択されていることを確認します。
- 左側の領域で、 をクリックします。
- ポートレットを追加する前に、ページ上での表示をあらかじめ確認できます。確認する場合は、 ではなく、ポートレット名をクリックします。
ルート・レベルが表示されていない場合は、ウィンドウの一番下にあるパスで「ポートレット・リポジトリ」をクリックします。
- 「生成済みプロバイダ」で、「Oracle Portal」をクリックします。

6. 「Personal Content」で、「お気に入り」をクリックします。



7. ポートレットの外観に問題がない場合は、「ポートレットの追加」をクリックします。



8. 「OK」をクリックします。
9. 「閉じる」をクリックします。

「お気に入り」ポートレットが、ページに組み込まれます。変更した内容がページにどのように反映されているのかを確認してください。



2.4 ページへのアクセス権の提供

ページに対してユーザーごとに異なるアクセス権を割り当てることによって、各ユーザーが表示および対話できる内容を正確に管理することができます。たとえば、人事部門の職員は、給与などの機密性の高い社員情報の一部を参照する必要があります。

2.4.1 すべてのユーザーに対するアクセス権の付与

ページに対して最上位レベルのアクセス権を付与した場合は、パブリック・ユーザーがページを利用することができます。つまり、そのページが格納されているマシンに接続できる場合は、ログインしなくてもそのページを表示できます。

このポータルは会社全体で使用するため、Healthy Living Wholesalers 社のすべての社員が利用できるようにする必要があります。

1. <Your Name>'s Healthy Living Page の一番上で、「ページのカスタマイズ」をクリックします。
2. 「アクセス」タブをクリックします。
3. 「パブリック・ユーザーにページを表示」チェック・ボックスが選択されていることを確認します。

すべてのユーザーにページを公開

すべてのユーザー（ログオンしていないユーザーも含む）に対しページを使用可能にするには、このボックスを選択します。

パブリック・ユーザーにページを表示

このチェック・ボックスを選択した場合、Healthy Living イン트라ネットへのアクセス権を持つユーザーは、すべてこのページを表示できます。

2.4.2 特定のユーザーに対するアクセス権の付与

特定のユーザーがページの表示以外の操作をできるようにする場合は、そのユーザーに対して明示的に権限を追加する必要があります。

ここでは、特定のユーザーに対して、新しいポートレットを Healthy Living ページに追加したり、既存のポートレットを削除できる権限を付与します。次の例では、このページに対する「コンテンツの編集」権限をユーザー HLW_USER に付与します。

1. 「ユーザー / ロール」フィールドで、HLW_EMPLOYEE を選択します。

2. 「ユーザー / ロール」 フィールドの横にあるリストから、「コンテンツの編集」を選択します。

アクセス権限の付与

権限を付与するユーザーまたはグループの名前を入力するか、「」をクリックしてユーザーの選択または「」をクリックしてグループの選択を実行します。次に、付与する権限レベルを選択して「追加」をクリックします。



3. 「追加」をクリックします。

アクセス権限の変更

ユーザーまたはグループに付与されている権限のレベルを変更するか、「」をクリックしてユーザーまたはグループの権限を取り消します。

ユーザー/ロール	タイプ	権限
 HLW_EMPLOYEE	USER	コンテンツの編集
 PORTAL30	USER	管理

ユーザーを削除する場合は、該当するユーザー名の横にある  をクリックします。ユーザーの権限を変更する場合は、「権限」リストから該当する権限を選択し、「適用」をクリックします。

注意： ページ作成者には、そのページに対する「管理」権限（割当て可能な最上位レベル）が自動的に付与されます。

2.4.3 ユーザー・グループに対するアクセス権の付与

グループを使用すると、1回の操作で複数のユーザーに権限を付与できます。グループに権限を付与すると、そのグループのメンバーであるすべてのユーザーにその権限が付与されます。

ここでは、複数のユーザーが別のポートレットをページに追加できるようにします。ただし、既存のポートレットは削除できないようにします。この場合は、ユーザー・グループに対して「カスタマイズ（追加のみ）」権限を付与します。

1. 「ユーザー / ロール」 フィールドで、HLW_HR を選択します。

- 「ユーザー / ロール」フィールドの横にあるリストから、「カスタマイズ（追加のみ）」を選択します。

アクセス権限の付与

権限を付与するユーザーまたはグループの名前を入力するか、「」をクリックしてユーザーの選択または「」をクリックしてグループの選択を実行します。次に、付与する権限レベルを選択して「追加」をクリックします。



- 「追加」をクリックします。

アクセス権限の変更

ユーザーまたはグループに付与されている権限のレベルを変更するか、「」をクリックしてユーザーまたはグループの権限を取り消します。

ユーザー/ロール	タイプ	権限
 HLW_EMPLOYEE	USER	コンテンツの編集
 PORTAL30	USER	管理
 HLW_HR	GROUP	カスタマイズ(追加のみ)

- 「OK」をクリックします。

2.5 レッソンのまとめ

おめでとうございます。ページを作成し、そのページに対するアクセス権をユーザーに付与しました。これで、次の方法を習得できました。

- ページの作成
- ページへのポートレットの追加
- ページへのアクセス権の提供

ページを使用して実行できる処理の詳細な例は、『Oracle Portal ポータル構築ガイド』を参照してください。

ページの作成に関する他の情報は、Oracle Portal のオンライン・ヘルプを参照してください。

コンテンツ領域の管理

推定所要時間： 40分

Oracle Portal のコンテンツ領域は、コンテンツの公開、管理、分類および表示を行うためのサービスです。コンテンツ領域内を管理するのみで、コンテンツのアップロードや直接入力、コンテンツの表示および編成方法の管理、Web ページ上でのコンテンツの表示形式の設定、適切なユーザー・コミュニティへのコンテンツの公開が可能になります。

コンテンツ領域を構成する主なコンポーネントには、コンテンツの格納と表示に使用する**フォルダ**、コンテンツ自体（**アイテム**と呼ばれる）、およびフォルダやフォルダ内のアイテムの表示方法（フォント、サイズ、色、位置など）を定義する**スタイル**があります。それ以外にも、関連するコンテンツへの移動や検索（**ナビゲーション・バー**および検索）、およびコンテンツの分類（**カテゴリ**および**パースペクティブ**）に使用するコンポーネントもいくつかあります。フォルダとアイテムへのアクセス権は、ユーザーやユーザー・グループに明示的に付与できます。

Oracle Portal のコンテンツ領域は、ポータル管理者が特定のユーザー・コミュニティやビジネス・ラインで使用するために作成します。作成したコンテンツ領域は、ポータル・ユーザーがフォルダ階層を構築し、コンテンツ領域管理者とフォルダ所有者が設定した権限に基づいてアイテムをアップロードするときに利用できます。このように、トップダウンの情報分類、確立されている企業組織、またはボトムアップの特別な構造に基づいて、関連したコンテンツを統合することができます。新しいコンテンツは、既存のフォルダのみでなく、既存のコンテンツ領域内の新しいフォルダにも追加できます。また、企業レベルの重要な属性を共有しているフォルダ階層を使用して、新しいコンテンツ領域を作成した場合は、そこに追加することもできます。

この章では、Oracle Portal のコンテンツ領域作成機能を理解するために、Healthy Living Wholesalers 社という架空の会社のコンテンツ領域を更新する手順について説明します。1 つ以上のコンテンツ領域の管理を担当するユーザー（コンテンツ領域管理者）または 1 つ以上のフォルダの管理を担当するユーザー（フォルダ管理者）は、次の例を使用して手順を確認する必要があります。コンテンツ領域管理者のみに適用される例は、そのように記載しています。

注意: 新しいコンテンツ領域を作成できるのは、ポータル管理者に限られます。コンテンツ領域管理者とフォルダ所有者は、権限を持っている既存のコンテンツ領域やフォルダのみを編集でき、新しいコンテンツ領域を作成することはできません。

この章の内容:

項	場所
3.1 項「始める前に」	3-2 ページ
3.2 項「フォルダの作成」	3-3 ページ
3.3 項「カテゴリの作成 (コンテンツ領域管理者のみ)」	3-5 ページ
3.4 項「パースペクティブの作成 (コンテンツ領域管理者のみ)」	3-6 ページ
3.5 項「スタイルの作成とフォルダへのスタイルの適用」	3-7 ページ
3.6 項「ナビゲーション・バーの作成とフォルダへのナビゲーション・バーの適用」	3-11 ページ
3.7 項「コンテンツ領域へのアクセス制御」	3-15 ページ
3.8 項「レッスンのまとめ」	3-19 ページ

ヒント: コンテンツ領域の設計方法に関する詳細は、『Oracle Portal ポータル構築ガイド』の「Web コンテンツの計画」を参照してください。

3.1 始める前に

この章の例を行うには、Healthy Living Tutorial コンテンツ領域のコンテンツ領域管理者である必要があります。コンテンツ領域管理者を Healthy Living Tutorial コンテンツ領域に割り当てる方法は、A-2 ページの A.4 項「ユーザーを Tutorial コンテンツ領域のコンテンツ領域管理者に割り当てる」を参照してください。

Oracle Portal を起動し、ログインする必要があります。この方法については、1-2 ページの「Oracle Portal の起動とログイン」を参照してください。

Healthy Living Tutorial コンテンツ領域の構造を理解するために、Healthy Living Tutorial コンテンツ領域を参照しておいてください。

3.2 フォルダの作成

コンテンツ領域は、いくつかのフォルダに分かれています。フォルダは、ファイル、他のページの URL、テキスト、コンポーネントなど、関連するアイテムの集合です。たとえば、Healthy Living Tutorial コンテンツ領域には、「Our Company」、「Our Products」および「For Our Employees」というフォルダがあります。コンテンツ領域を個別の領域に分けることにより、コンテンツを構造化したり、論理的に編成することができます。これにより、ユーザーは必要な情報をより簡単に検索できるようになります。

注意：コンテンツ領域管理者は、コンテンツ領域の任意の場所にフォルダを作成できます。フォルダ所有者は、権限を持つフォルダ内のみフォルダを作成できます。

たとえば、Healthy Living コンテンツ領域の管理の引継ぎを依頼されたと想定します。Healthy Living Wholesalers 社の社員、仕入先および顧客は、このコンテンツ領域を使用してこの会社に関する情報を入手します。

Healthy Living の販売部門では、会員制度の導入を決定したため、会員はその制度を利用して Healthy Living 製品を専用の Web サイトから販売できます。また、販売部門では、その制度に関する有効な情報を記載した文書をまとめてあるため、Healthy Living コンテンツ領域上にそれらの文書を公開して、入会希望者が参照できるようにします。

コンテンツ領域管理者は、これらの文書を格納する新しいフォルダを最初に作成します。

1. ショートカット・バーで、 をクリックします。
2. ナビゲータの「コンテンツ領域」タブが表示されていない場合は、「コンテンツ領域」をクリックします。
3. ルート・レベルで表示していない場合は、「パス」の「コンテンツ領域」をクリックします。
4. 「Healthy Living Tutorial」行で、「コンテンツ」をクリックします。
5. 「フォルダ」をクリックします。

画面からわかるように、いくつかのフォルダがコンテンツ領域にすでに存在しています。しかし、これらのフォルダはいずれも、会員制度に関する情報を格納するのに適していません。このため、新しいフォルダを作成する必要があります。

6. 新規作成の「フォルダ」をクリックします。



注意: 「フォルダ」リンクが表示されない場合は、Healthy Living Tutorial コンテンツ領域の管理者権限を持っていない可能性があります。コンテンツ領域管理者権限の付与をポータル管理者に依頼してください。この方法については、[A-2 ページの A.4 項「ユーザーを Tutorial コンテンツ領域のコンテンツ領域管理者に割り当てる」](#)を参照してください。

- 「フォルダ・タイプ」リストで、「コンテナ」が選択されていることを確認します。

フォルダ・タイプ

コンテンツ領域に追加するフォルダ・タイプを選択します。このリストには、4つの基本タイプと、コンテンツ領域の管理者によって作成されたカスタム・フォルダ・タイプが入っています。

フォルダ・タイプ

- 「次へ」をクリックします。
- 「名前」フィールドに <YourName>associate と入力します。YourName には、ユーザー自身のユーザー名を指定します。

注意: このチュートリアル全体を通じて、名前と表示名の先頭に自分のユーザー名を追加して、作成中のオブジェクトが一意であるようにしておくこと、後で検索しやすくなります。

- 「表示名」フィールドに、<YourName>'s Associate Program と入力します。
- 「カテゴリ」リストで、「一般」が選択されていることを確認します。

注意: カテゴリについては、後で詳しく説明します。

フォルダのプロパティ

フォルダについて、内部的に使用する名前と、ナビゲータおよび製品全体にわたって表示される表示名を入力してください。名前には空白または特殊文字を使用できません。フォルダのカテゴリを選択します。

親フォルダ Healthy Living Tutorial
名前
表示名
カテゴリ

- 「完了」をクリックします。

会員制度に関する情報を格納するフォルダを作成できました。販売部門では、作成した文書をこのフォルダにアップロードできます。

3.3 カテゴリの作成（コンテンツ領域管理者のみ）

コンテンツ領域に追加するアイテムとフォルダをすべて、カテゴリに割り当てる必要があります。カテゴリは、グループ化したもので、「これは何か」といったコンテンツ固有の疑問に答えます。たとえば、Healthy Living コンテンツ領域には、About Us、How To、The Product Line というカテゴリがあります。会社自体に関する情報のみを表示し、製品ラインに関する情報を表示しない場合は、About Us カテゴリに属しているアイテムのみを検索します。カテゴリを使用すると、コンテンツを詳細に編成できるため、ユーザーは必要な情報のみをすばやく簡単に検索できます。アイテムやフォルダは、複数のカテゴリに割り当てることはできません。

会員制度に関する情報には、FAQ の回答を記載した文書も含まれます。コンテンツ領域には、Healthy Living のさまざまな部門に関する FAQ が含まれています。このため、FAQ 文書のカテゴリを新しく作成すると、ユーザーがより簡単に検索できるようになります。

1. 「パス」で、「Healthy Living Tutorial」をクリックします。
2. 「カテゴリ」行で、「新規作成」をクリックします。
3. 「名前」フィールドに、<YourName>faq と入力します。
4. 「表示名」フィールドに、<YourName>'s FAQ と入力します。

カテゴリのプロパティ

カテゴリの名前と表示名を入力してください。名前は内部でカテゴリを識別するためのもので、空白または特殊文字は使用できません。表示名は、ユーザーがカテゴリを識別するためのものです。作成したカテゴリを編集するには、ページの最上部にあるリンクをクリックします。

親カテゴリ	<なし>
名前	<input type="text" value="scottfaq"/>
表示名	<input type="text" value="Scott's FAQ"/>

5. 「新規作成」をクリックします。

新しいカテゴリへのリンクが、ページの一番上に表示されます。このリンクをクリックすると、そのカテゴリを編集できます。

6. この時点ではこのカテゴリを編集する必要がないため、「閉じる」をクリックします。

ユーザーが FAQ 文書をコンテンツ領域に追加すると、この新しいカテゴリに割り当てられます。コンテンツ領域のユーザーは、FAQ カテゴリを検索して、あらゆる FAQ 文書をすばやく取り出すことができます。

3.4 パースペクティブの作成（コンテンツ領域管理者のみ）

アイテムをコンテンツ領域に追加するときに、そのアイテムを1つまたは複数のパースペクティブに割り当てることができます。パースペクティブは、フォルダおよびカテゴリをまたがってグループ化したもので、「これに興味があるのは誰か」という疑問に答えます。たとえば、Healthy Living コンテンツ領域には、Supplier、Employee、および HTML というパースペクティブがあります。社員に関連したアイテムのみを表示し、仕入先に関連した情報を表示しない場合は、Employees パースペクティブに属しているアイテムのみを検索します。パースペクティブを使用すると、関心のある情報のみをすばやく簡単に検索できます。関心のない情報を除外する必要はありません。

会員制度の会員がすべての関連情報に簡単にアクセスできるようにするには、それらのユーザーに対してパースペクティブを作成すると有効です。

1. 「パス」で、「Healthy Living Tutorial」をクリックします。
2. 「パースペクティブ」行で、「新規作成」をクリックします。
3. 「名前」フィールドに、<YourName>associate と入力します。
4. 「表示名」フィールドに、<YourName>'s Associate と入力します。

パースペクティブのプロパティ

パースペクティブの名前と表示名を入力してください。名前は内部でパースペクティブを識別するためのもので、空白または特殊文字は使用できません。表示名は、ユーザーがパースペクティブを識別するためのものです。作成したパースペクティブを編集するには、ページの最上部にあるリンクをクリックします。

親パースペクティブ <なし>	
名前	<input type="text" value="scottassociate"/>
表示名	<input type="text" value="Scott's Associate"/>

5. 「新規作成」をクリックします。

新しいパースペクティブへのリンクが、ページの一番上に表示されます。このリンクをクリックすると、そのパースペクティブを編集できます。

6. この時点ではこのパースペクティブを編集する必要がないため、「閉じる」をクリックします。

会員制度の会員や入会希望者に関連するアイテムを追加すると、この新しいパースペクティブに割り当てられます。会員制度の会員は、Associate パースペクティブ上で検索すると、必要なアイテムをすべて取り出すことができます。

3.5 スタイルの作成とフォルダへのスタイルの適用

スタイルとは、コンテンツ領域のフォルダやナビゲーション・バーの外観を制御するテンプレートのことです。このテンプレートは、色、フォントのプロパティ、サイズ、背景イメージ、バナーなど、コンテンツ領域全体で共通のグラフィカル要素を管理します。コンテンツ領域を作成すると、Oracle Portal によって2つのデフォルト・スタイルが自動作成されます。一方はコンテンツ領域のフォルダに適用され、もう一方はコンテンツ領域のナビゲーション・バーに適用されます。通常は、これらのデフォルト・スタイルを編集するか、独自のスタイルを作成して企業独自の外観を適用します。

3.5.1 スタイルの作成

前の例では、Healthy Living の企業スタイルに合うようにナビゲーション・バーのスタイルを変更しました。次に、フォルダについても同様の変更を行う必要があります。まず、作業に必要な新しいスタイルを作成します。

1. 「スタイル」をクリックします。

コンテンツ領域の既存のデフォルト・スタイル (Healthy Living Tutorial と Healthy Living Tutorial Navbar Style) が表示されます。

2. 新規作成の「スタイル」をクリックします。



3. 「名前」フィールドに、<YourName>hlwstyle と入力します。
4. 「表示名」フィールドに、<YourName>'s HLW Style と入力します。
5. 「コピー元」リストで、「Main Site Style」を選択します。

スタイルのプロパティ

名前と表示名を入力してください。名前は内部で使用するもので、空白または特殊文字は使用できません。表示名は、ユーザーに表示されるものです。既存のスタイルをコピーして、新しいスタイルの基として使用することができます。このスタイルは、自分だけが使用できるのか、他の許可されたユーザーにも使用できるのかを選択します。

名前	<input type="text" value="scotthlwstyle"/>
表示名	<input type="text" value="Scott's HLW Style"/>
コピー元	<input type="text" value="Main Site Style"/>
	<input type="checkbox"/> パブリックにする

6. 「新規作成」をクリックします。

新しいスタイルへのリンクが、ページの一番上に表示されます。このリンクをクリックすると、そのスタイルを編集できます。

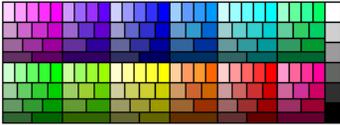
3.5.2 スタイル・プロパティの編集

新しいスタイルの作成が完了したので、Healthy Living の企業スタイルに合うように編集する必要があります。

1. 「<YourName>'s HLW Style」をクリックします。
2. 「スタイル要素」リストで、「メイン・バナー色」を選択します。
3. 「色」フィールドに、#000066 と入力します。

ヒント: 色の 16 進コードがわからない場合は、カラー・パレットから該当する色を選択できます。

スタイル要素

<input type="text" value="メイン・バナー色"/>

色 #000066 <input type="button" value="Apply"/>

4. 「色」フィールドの右側にある「Apply」ボタンをクリックします。

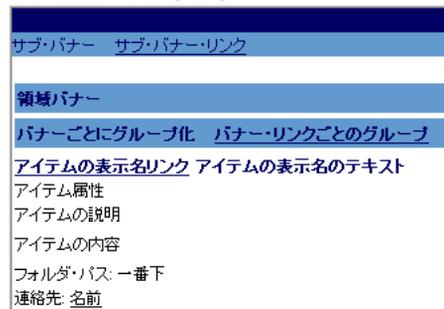
5. 他のスタイル要素の色を変更します。下の表を参照してください。

ヒント: 色を変更したら、「Apply」をクリックし、指定した色を各要素に適用してください。

スタイル要素	色
サブ・バナー	#000066
サブ・バナー色	#6699CC
サブ・バナー・リンク	#000066
領域バナー	#000066
領域バナー色	#6699CC
バナーごとにグループ化	#000066
バナー色ごとにグループ化	#6699CC
バナー・リンクごとのグループ化	#000066
アイテムの表示名リンク / ナビゲーション・バー・リンク	#000066
アイテムの表示名のテキスト / ナビゲーション・バーのラベル	#000066

注意: 「適用」をクリックするたびに、プレビュー領域が更新されて、変更内容が反映されます。前述の手順が完了すると、次のようなプレビュー画面が表示されます。

プレビュー: フォルダ



6. 「OK」をクリックします。

注意: バナーやフォントの色のみでなく、フォント・サイズ、フォント、フォント・スタイル、フォント位置、バナーの高さ、フォルダ・パスの配置も変更できます。

3.5.3 フォルダへのスタイルの適用

次に、新しいスタイルをコンテンツ領域のフォルダに関連付ける必要があります。

1. 「パス」で、「Healthy Living Tutorial」をクリックします。
2. 「フォルダ」をクリックします。
3. さきほど作成したフォルダ（<YourName>'s Associate Program）の横で、「編集」をクリックします。
4. 「スタイル」タブをクリックします。
5. 「スタイルの選択」リストで、「<YourName>'s HLW Style」を選択します。

ページが更新されて、選択したスタイルのプレビュー画面が表示されます。この画面で、スタイルを編集することもできます。

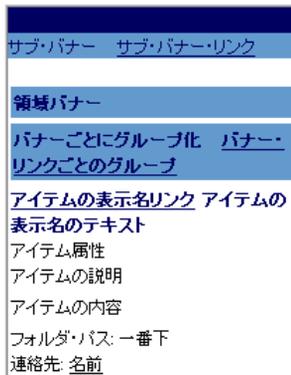
現行のスタイル

このフォルダに適用するスタイルを選択してください。スタイルのプレビュー図に選択内容が自動的に反映されます。

現行のスタイル Healthy Living Tutorial
スタイルの選択

スタイルのプロパティ

スタイルを編集するには、「[Scott's HLW Style](#)」リンクをクリックしてスタイル・マネージャのタブを表示します。



6. 「適用」をクリックします。
7. 「OK」をクリックします。

- 「<YourName>'s Associate Program」をクリックします。

注意：このスタイルはフォルダには適用されますが、ナビゲーション・バーには適用されません。ナビゲーション・バーには、スタイルを別途適用する必要があります。Oracle Portal では、別のスタイルをナビゲーション・バーに使用する場合もあるので、これら2つのスタイルが区別されています。たとえば、Healthy Living コンテンツ領域では、フォルダ領域の背景を白にし、ナビゲーション・バーの背景を明るい青にします。

- ご使用のブラウザの「戻る」ボタンをクリックします。

3.6 ナビゲーション・バーの作成とフォルダへのナビゲーション・バーの適用

ナビゲーション・バーを使用すると、必要な Web コンテンツを簡単に検索できます。標準的なナビゲーション・バーには、アクセス頻度の高い URL のリスト、コンテンツ領域の基本検索機能、および特定のコンテンツ領域で利用できるすべての情報カテゴリのリストが含まれています。ただし、ナビゲーション・バーの項目は、すべてインタフェース要素である必要はありません。任意の要素（外部の Web サイトなど）へのリンク、静的イメージ（ロゴなど）および静的テキストも含めることができます。

コンテンツ領域を作成すると、Oracle Portal によってデフォルトのナビゲーション・バーが自動作成され、コンテンツ領域に適用されます。通常は、このデフォルトのナビゲーション・バーを編集するか、独自のナビゲーション・バーを作成します。

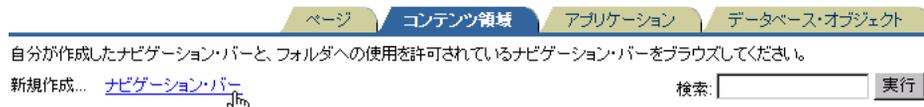
3.6.1 ナビゲーション・バーの作成

Healthy Living コンテンツ領域のナビゲーション・バーにさまざまな要素を追加して、使いやすさを向上させることができます。まず、新しいナビゲーション・バーを作成します。

- 「パス」で、「Healthy Living Tutorial」をクリックします。
- 「ナビゲーション・バー」をクリックします。

コンテンツ領域にすでに作成されているデフォルトのナビゲーション・バーが表示されます。

- 新規作成の「ナビゲーション・バー」をクリックします。



- 「名前」フィールドに、<YourName>hlwnavbar と入力します。
- 「表示名」フィールドに、<YourName>'s HLW Navigation Bar と入力します。

- 「スタイル」リストで、「Healthy Living Tutorial Navbar Style」を選択します。

ナビゲーション・バーのプロパティ

内部的に使用する名前と、ナビゲータおよび製品全体にわたって表示される表示名を入力してください。ナビゲーション・バーの外観を決めるスタイル(背景色とテキストの色など)を選択します。ナビゲーション・バーの要素の配置を決める位置設定を選択します。「コピー元」で別のナビゲーション・バーを指定し、作成するナビゲーション・バーの基にすることもできます。作成したナビゲーション・バーを編集するには、ページ最上部に表示されるリンクをクリックします。

名前	<input type="text" value="scotthlwnavbar"/>
表示名	<input type="text" value="Scott's HLW Navigation Bar"/>
スタイル	<input type="text" value="Healthy Living Tutorial Navbar Style"/>
文字位置	<input type="text" value="左揃え"/>
コピー元	<input type="text" value="〈なし〉"/>

- 「新規作成」をクリックします。

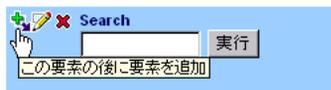
これで、新しいナビゲーション・バーへのリンクがページの一番上に表示されます。このリンクをクリックすると、そのナビゲーション・バーを編集できます。

- 「閉じる」をクリックします。

3.6.2 ナビゲーション・バーへの要素の追加

この時点では、作成したナビゲーション・バーは空白です。このナビゲーション・バーを編集して、必要な要素を追加する必要があります。

- 「<YourName>'s HLW Navigation Bar」をクリックします。
- 「要素」タブをクリックします。
-  をクリックします。



- 「要素タイプ」リストで、「基本要素」が選択されていることを確認します。

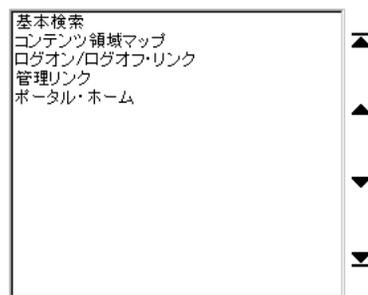
追加する要素タイプの指定

ナビゲーション・バーに追加する要素の種類を選択します。

要素タイプ	<input type="text" value="基本要素"/>
-------	-----------------------------------

5. 「次へ」をクリックします。
6. 「使用可能」リストで、次の要素を選択します。
 - ログオン / ログオフ・リンク
 - 管理リンク
 - 基本検索
 - コンテンツ領域マップ
 - ポータル・ホーム
7. ➤ をクリックします。
8. ▲ と ▼ をクリックし、「選択済み」リストの基本要素を下図と同じ順序に並べ替えます。

選択済み



9. 「完了」をクリックします。

プレビュー画面が更新されて、ナビゲーション・バーに追加した要素が反映されます。
10. 「Close」をクリックします。

3.6.3 フォルダへのナビゲーション・バーの適用

次に、新しいナビゲーション・バーをコンテンツ領域のフォルダに関連付ける必要があります。

1. 「パス」で、「Healthy Living Tutorial」をクリックします。
2. 「フォルダ」をクリックします。
3. さきほど作成したフォルダ（<YourName>'s Associate Program）の横で、「編集」をクリックします。
4. 「ナビゲーション・バー」タブをクリックします。
5. 「ナビゲーション・バーの選択」ラジオ・ボタンを選択します。
6. ナビゲーション・バーのリストから、「<YourName>'s HLW Navigation Bar」を選択します。

現行のナビゲーション・バー

このフォルダに適用するナビゲーション・バーを選択します。デフォルトの設定では、親フォルダのナビゲーション・バーが適用されます。または、既存のナビゲーション・バーを「ナビゲーション・バーの選択」リストから選択します。

- デフォルトを使用 (Healthy Living Tutorial)
- 親フォルダからの継承 (Healthy Living Tutorial)
- ナビゲーション・バーの選択

7. 「適用」をクリックします。
ページが更新されます。ここで、ナビゲーション・バーを編集できます。
8. 「OK」をクリックします。
9. 「<YourName>'s Associate Program」をクリックします。
作成したナビゲーション・バーがこのフォルダに適用されました。
10. ご使用のブラウザの「戻る」ボタンをクリックします。

3.7 コンテンツ領域へのアクセス制御

コンテンツ領域内の各フォルダは、パブリック・フォルダとそれ以外のフォルダに分かれます。パブリック・フォルダの場合は、ログインしなくてもすべてのユーザーがそのコンテンツを表示できます。パブリックでないフォルダは、ログインしているユーザーのうち、そのフォルダに対する「コンテンツを表示」権限を明示的に付与されているユーザーのみがそのコンテンツを表示できます。

コンテンツ領域にログインしない場合は、パブリック・ユーザーと見なされ、コンテンツの表示以外はできません。パブリック・ユーザーは、パブリック・フォルダのコンテンツ以外は表示できません。コンテンツ領域内のより多くの情報にアクセスするには、ログインする必要があります。Oracle Portal にログインすると、実行可能な作業と、アクセス可能なパブリック・フォルダ以外のフォルダが決定されます。

たとえば、特定のフォルダ（コンテンツ領域のルート・フォルダなど）について、表示する権限はすべてのユーザーに付与し、コンテンツを追加する権限は特定のユーザーのみに付与することができます。この操作を行うには、ルート・フォルダがパブリック・フォルダであることを確認してから、特定のフォルダに対する「アイテムの管理」権限をコンテンツ協力者に明示的に付与します。

または、一定数のユーザーのみが表示できるフォルダを作成することもできます。この場合は、そのフォルダをパブリックにしないで、そのフォルダに対する「コンテンツを表示」権限を一定数のユーザーに個別に付与します。権限を付与するユーザー数が多い場合は、それらのユーザーのグループを作成し、ユーザーに対して個別に付与せず、グループに対して権限を付与することもできます。

フォルダへのアクセス権にはさまざまなレベルがあります。

権限	実行できる操作
フォルダの所有	他のユーザーへのフォルダ権限の付与も含め、フォルダに関するあらゆる作業を実行できます。 フォルダの所有権を割り当てると、フォルダ・レベルの作業はユーザーによって適切なタイミングで行われます。コンテンツ領域管理者が行う必要がなくなります。 コンテンツ領域管理者には、コンテンツ領域内の各フォルダに対する「フォルダの所有」権限が自動的に付与されます。
コンテンツを表示	フォルダ内のすべてのアイテムを表示できます。
スタイルの編集	フォルダのスタイルを変更できます。
アイテムの管理	フォルダ内のアイテムを追加、編集および削除できます。 コンテンツの所有権を委任すると、そのコンテンツを最もよく理解しているユーザーが管理するため、コンテンツが常に正確で最新の状態になります。

権限	実行できる操作
承認付きで作成	フォルダに新規アイテムを追加できます。「承認付きで作成」権限を持つユーザーが追加したアイテムは、フォルダ所有者が承認するまで他のユーザーには表示されません。

注意: アイテム・レベルでセキュリティを設定することもできます。詳細は、Oracle Portal のオンライン・ヘルプを参照してください。「検索」フィールドに「セキュリティ」と入力し、「実行」をクリックします。

3.7.1 すべてのユーザーに対するアクセス権の付与

コンテンツ領域内にパブリック情報を配置した場合は、ログインしていないユーザーも含め、そのコンテンツ領域を表示するユーザーに対してその情報が表示されます。

Healthy Living コンテンツ領域にアクセスするユーザーは、ログインしなくても、すでに作成した Associate Program フォルダのコンテンツを参照できる必要があります。

1. 「<YourName>'s Associate Program」行で、「編集」をクリックします。
2. 「アクセス」タブをクリックします。
3. 「パブリックにする」チェック・ボックスを選択します。

アクセス設定

ログインしていないユーザーを含むすべてのユーザーにこのフォルダを表示するには、「パブリックにする」を選択します。次に、「アイテム・レベルのセキュリティを有効にする」を選択し、フォルダ内の個々のアイテムのセキュリティを使用可能にします。アイテム・レベルのセキュリティは、実行時に影響し、フォルダ・キャッシュを使用禁止にします。

- パブリックにする
 アイテム・レベルのセキュリティを有効にする

4. 「適用」をクリックします。

これで、すべてのユーザーが、Associate Program フォルダのコンテンツを参照できます。

3.7.2 特定のユーザーに対するアクセス権の付与

パブリック・フォルダの表示以上のアクセス権をユーザーに付与する場合は、フォルダに対する権限をそのユーザーに明示的に付与する必要があります。

Oracle Portal では、コンテンツを実際に作成したユーザーに対して、そのコンテンツを追加する権限を付与することができます。このとき、セキュリティも確保されます。ここでは、Associate Program フォルダにコンテンツを追加する権限を、ユーザーに付与します。

1. 「名前」フィールドで、HLW_EMPLOYEE を選択します。

アクセス権限の付与

フォルダのアクセス権限を付与するユーザーまたはグループの名前を入力するか、「



2. 「アクセス・リストに追加」をクリックします。
3. 「アイテムの管理」チェック・ボックスを選択します。

アクセス権限の変更

ユーザーまたはグループに付与するフォルダ・アクセス権限のレベルを選択するには、該当するボックスをチェックしてください。ユーザーまたはグループのアクセス権限をすべて取り消すには「

ユーザー/ロールの名前	ユーザー/ロールのタイプ	フォルダを所有する	コンテンツを表示	スタイルの編集	アイテムの管理	承認付きで作成
 HLW_EMPLOYEE	USER	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
PORTAL30	USER	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

注意：このフォルダを作成したユーザーは、自動的にフォルダ所有者になります。

4. 「適用」をクリックします。

これで、HLW_EMPLOYEE は、「Associate Program」フォルダ内のアイテムを追加、編集、削除できます。

3.7.3 複数のユーザーに対するアクセス権の付与

フォルダへのアクセス権を、複数のユーザーに付与することもできます。たとえば、特定の部門に所属するすべてのメンバーに対して、その部門のフォルダにコンテンツを追加できる権限を付与できます。この場合、各ユーザーに個別に権限を付与することもできますが、時間がかかり、管理が難しくなります。特に、同一ユーザーに対して複数の異なるフォルダへのアクセス権を付与する場合は、さらに時間と工数が必要になります。かわりに、これらのユーザーを含むグループを作成し、そのグループに対してフォルダへのアクセス権を付与することができます。

グループに権限を付与すると、その権限がグループのすべてのメンバーに適用されます。新しい社員がその部門に加わったときでも、その社員を簡単にグループに追加できます。グループに追加された社員には、その部門の他のメンバーと同じフォルダ権限が付与されます。

ここでは、複数のユーザーに対して、「<Your Name>'s Associate Program」フォルダにアイテムを追加できる権限を付与します。ただし、これらのユーザーによって追加されたアイテムは、そのフォルダ所有者が承認してから、他のユーザーが利用できるようにします。

1. 「名前」フィールドに、HLW_HR と入力します。

アクセス権限の付与

フォルダのアクセス権限を付与するユーザーまたはグループの名前を入力するか、「」をクリックしてユーザーを選択するか「」をクリックしてグループを選択し、「アクセス・リストに追加」をクリックします。



2. 「アクセス・リストに追加」をクリックします。
3. 「承認付きで作成」チェック・ボックスを選択します。

アクセス権限の変更

ユーザーまたはグループに付与するフォルダ・アクセス権限のレベルを選択するには、該当するボックスをチェックしてください。ユーザーまたはグループのアクセス権限をすべて取り消すには「」をクリックしてください。

ユーザー/ロールの名前	ユーザー/ロールのタイプ	フォルダを所有する	コンテンツを表示	スタイルの編集	アイテムの管理	承認付きで作成
 HLW_EMPLOYEE	USER	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
PORTAL30	USER	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
 HLW_HR	GROUP	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

4. 「適用」をクリックします。

5. 「OK」をクリックします。

これで、HLW_HRグループのすべてのメンバーが、「Associate Program」フォルダにアイテムを追加できます。これらのアイテムは、フォルダ所有者が承認するまで、他のユーザーには表示されません。

3.8 レッソンのまとめ

おめでとうございます。Healthy Living Tutorial コンテンツ領域の更新が完了しました。これで、次の方法を習得できました。

- フォルダの作成
- カテゴリの作成
- パースペクティブの作成
- スタイルの作成とコンテンツ領域へのスタイルの適用
- ナビゲーション・バーの作成とコンテンツ領域へのナビゲーション・バーの適用
- コンテンツ領域へのアクセス権の付与

コンテンツ領域の作成に関する他の情報は、Oracle Portal のオンライン・ヘルプを参照してください。

コンテンツ領域へのアイテムの追加

推定所要時間: 30分

この章では、コンテンツ領域にアイテムを追加する方法を説明します。アイテムは、Oracle Portal のコンテンツ領域における基本単位です。Oracle Portal では、ブラウザに描画できるコンテンツをすべて表示できます。サポートされているアイテム・タイプには、ファイル、フォルダ・リンク、イメージ/イメージマップ、PL/SQL、テキスト、URL、Java アプリケーション、Zip ファイル（ファイル・セットを追加する場合）、および Oracle Portal のアプリケーション・コンポーネント（レポート、フォーム、チャート、メニュー、フレーム・ドライバなど）があります。

この章では、Oracle Portal のアイテム作成機能を理解するために、Healthy Living Wholesalers 社という架空の会社のコンテンツ領域に複数のアイテムを追加する手順について説明します。コンテンツ領域内の1つ以上のフォルダにコンテンツを寄与するユーザーは、この章の例を使用して手順を確認する必要があります。

この章の内容:

項	場所
4.1 項「始める前に」	4-2 ページ
4.2 項「フォルダへのアイテムの追加」	4-2 ページ
4.3 項「アイテムの編集」	4-11 ページ
4.4 項「レッスンのまとめ」	4-13 ページ

4.1 始める前に

この章の例を行うには、Healthy Living Tutorial コンテンツ領域内の「For Our Employees」フォルダに対する「アイテムの管理」権限が必要です。このフォルダに対する「アイテムの管理」権限を付与する方法は、[A-3 ページの A.5 項「ユーザーに対して、Tutorial コンテンツ領域の For Our Employees フォルダへの「アイテムの管理」権限を付与する」](#)を参照してください。

Oracle Portal を起動し、ログインする必要があります。この方法については、[1-2 ページの「Oracle Portal の起動とログイン」](#)を参照してください。

Healthy Living Tutorial コンテンツ領域の構造を理解するために、Healthy Living Tutorial コンテンツ領域を参照しておいてください。

4.2 フォルダへのアイテムの追加

コンテンツ領域は、いくつかの関心領域に分割したフォルダから構成されます。作成したファイル（Word 文書、Excel ファイルなど）、外部の Web サイトの URL、Oracle Portal のアプリケーション・コンポーネントなどを、これらのフォルダに編成できます。このようなファイル、URL、コンポーネントなどが、アイテムと呼ばれます。

次の表は、コンテンツ領域に通常割り当てるコンテンツと機能、および Oracle Portal を使用してそのコンテンツや機能を提供する方法の一覧です。

操作	追加するアイテムのタイプ
ファイル（文書やスプレッドシートなど）のアップロード	ファイル
別のフォルダへのリンク	フォルダ・リンク
イメージの表示（様々な URL へのリンクも含めることができる）	イメージ
JavaServer Pages (JSP) アプリケーションのアップロード（JAR ファイルとして）	Java アプリケーション
PL/SQL プロシージャの実行	PL/SQL
プレーン・テキストの表示	テキスト
別の Web ページや Web サイトへのリンク	URL
Oracle Portal のコンポーネント（フォームやレポートなど）の表示	Oracle Portal コンポーネント
Zip ファイルのアップロード。そのアイテムを解凍して、Zip ファイル内のすべてのアイテムをアップロードする。簡単に複数のファイルをコンテンツ領域に追加できる。	Zip ファイル

4.2.1 別の Web ページや Web サイトへのリンクの追加

多くの場合、他の Web サイトや Web ページへのリンクをコンテンツ領域に追加して、ユーザーが他の情報ソースにアクセスできるようにする必要があります。

ここでは、Healthy Living の社員が、CNN.com などのオンライン・ニュース・ソースに定期的にアクセスできるようにします。また、フォルダ所有者が、この URL をアイテムとして「For Our Employees」フォルダに追加できるようにします。

1. ショートカット・バーで、 をクリックします。
2. ナビゲータの「コンテンツ領域」タブが表示されていない場合は、「コンテンツ領域」をクリックします。
3. ルート・レベルで表示していない場合は、「パス」の「コンテンツ領域」をクリックします。
4. 「Healthy Living Tutorial」をクリックします。
5. 「For Our Employees」をクリックします。



6. メイン・バナーで、「フォルダの編集」をクリックして「編集」モードに切り替えます。



注意: このフォルダに対する編集権限を持っているため、「フォルダの編集」リンクが表示されます。前のフォルダに対しては編集権限を持っていなかったため、「フォルダの編集」リンクは表示されませんでした。

7. フォルダ・ダッシュボードで、「アイテムを追加」をクリックします。



8. 「アイテム・タイプ」リストで、「URL」を選択します。

アイテムのプロパティ

このフォルダに追加するアイテムのタイプを選択し、「次へ」をクリックします。

アイテム・タイプ

9. 「次へ」をクリックします。
10. 「Quickpicks」ラジオ・ボタンを選択します。

Quickpick 領域を選択すると、その URL がフォルダの一番上に表示されるように設定されます。これらの領域とそのレイアウトは、フォルダのスタイルで指定します。アイテムを追加するときは、そのアイテムがフォルダ内で表示される領域を選択する必要があります。

「For Our Employees」フォルダは、「Quickpicks」、「Announcements (お知らせ)」、「Sub-folders (サブフォルダ)」、「News (ニュース)」、「Regular Items (標準アイテム)」という領域にわかれています。

11. 「URL」フィールドに、`http://www.cnn.com/` と入力します。
12. 「表示名」フィールドに、`<YourName> News from CNN` と入力します。YourName にはユーザー自身のユーザー名を指定します。

注意: このチュートリアル全体を通じて、名前と表示名の先頭に自分のユーザー名を追加して、作成中のオブジェクトが一意であるようにしておくこと、後で検索しやすくなります。

13. 「カテゴリ」リストで、「一般」が選択されていることを確認します。

アイテムをカテゴリに割り当てると、そのアイテムの内容がわかりやすくなるため、検索中のアイテムかどうかをすばやく簡単に判断できるようになります。たとえば、Healthy Living コンテンツ領域には、About Us、How To、The Product Line というカテゴリがあります。

注意: カテゴリの詳細は、Oracle Portal のオンライン・ヘルプを参照してください。「検索」フィールドに「カテゴリ」と入力し、「実行」をクリックします。

フォルダ領域

このアイテムを表示する領域の名前の隣にあるラジオ・ボタンをクリックします。

<input checked="" type="radio"/>	Quickpicks
<input type="radio"/>	Announcements
	Sub-folders
<input type="radio"/>	News
<input type="radio"/>	Regular Items

プライマリ アイテム 属性

アイテムがクリックされたときに表示されるURLを入力します。フォルダ領域に表示されるアイテムのリンク・テキストの表示名を入力します。アイテムの内容を最もよく表すカテゴリを選択し、説明を入力します。

URL	<input type="text" value="http://www.cnn.com/"/>
表示名	<input type="text" value="Scott's News from CNN"/>
カテゴリ	<input type="text" value="一般"/>

14. 「完了」をクリックします。



15. 「<YourName> News from CNN」をクリックして、そのアイテムを表示します。
 16. ご使用のブラウザの「戻る」ボタンをクリックします。

4.2.2 テキストの追加

コンテンツ領域に対して、少量の情報をすばやく追加しなければならないことがあります。この場合、テキスト・アイテムを追加するのが最も簡単です。

ここでは、恒例の社員旅行への参加受けがオフィスのロビーで今週行われることを、Healthy Living の社員に通知します。

1. フォルダ・ダッシュボードで、「アイテムを追加」をクリックします。
2. 「アイテム・タイプ」リストで、「テキスト」を選択します。

アイテムのプロパティ

このフォルダに追加するアイテムのタイプを選択し、「次へ」をクリックします。

アイテム・タイプ

3. 「次へ」をクリックします。
4. 「News (ニュース)」ラジオ・ボタンを選択します。
5. 「テキスト」フィールドに、次のテキストを入力します。

This week, sign up for the annual corporate picnic in the lobby. This year's picnic promises to offer a great day out, with many fun activities planned and as much barbequed food as you can eat! You won't want to miss it!

6. 「表示名」フィールドに、<YourName> Sign up for the Corporate Picnic! と入力します。
7. 「カテゴリ」リストで、「一般」が選択されていることを確認します。

フォルダ領域

このアイテムを表示する領域の名前の隣にあるラジオ・ボタンをクリックします。

<input type="radio"/> Quickpicks
<input type="radio"/> Announcements
<input type="radio"/> Sub-folders
<input checked="" type="radio"/> News
<input type="radio"/> Regular Items

プライマリ アイテム属性

アイテムがクリックされたときに表示されるテキストを入力します。フォルダ領域に表示されるアイテムのリンク・テキストの表示名を入力します。アイテムの内容を最もよく表すカテゴリを選択し、説明を入力します。

テキスト

This week, sign up for the annual corporate picnic in the lobby. This year's picnic promises to offer a great day out, with many fun activities planned and as much barbequed food as you can eat! You won't want to miss it!

表示名

カテゴリ

8. 「有効期限」ラジオ・ボタンを選択し、そのフィールドに7と入力します。

このアイテムの情報は、受付け期間中のみ表示されます。有効期限を設定すると、このアイテムが自動的にフォルダから削除されます。手動で削除する必要がなくなります。

注意: アイテムが表示されなくなっても、コンテンツ領域管理者が期限切れのアイテムをパージするまで、データベースからは削除されません。

有効期限

このアイテムが常に使用可能であるか、指定された日数間だけ使用可能であるか、特定の日に期限が切れるかを選択します。

- 有効期限なし
- 有効期限 日
- 有効期限 (YYYY-MM-DD)

9. 「次へ」をクリックします。

10. 「表示オプション」フィールドの「フォルダ領域に直接表示されるアイテム」ラジオ・ボタンを選択します。

このアイテムは、重要な情報であるため、ユーザーがフォルダを表示した直後に表示されるようにします。アイテムを In Place 表示すると、そのアイテムがフォルダに直接表示されます。ユーザーは、リンクをクリックしてそのアイテムを表示する必要がありません。

表示オプション

アイテムがクリックされたときのテキスト・アイテムの表示方法を選択します。表示方法には、ブラウザ・ウィンドウの右のペイン内、アイテムの表示名の下に直接、現在のブラウザ・ウィンドウ(ナビゲーション・バーなし)、または別のブラウザ・ウィンドウがあります。

- フォルダ領域にアイテムを表示するリンク
- フォルダ領域に直接表示されるアイテム
- フル・ブラウザ・ウィンドウでアイテムを表示するリンク
- 新しいブラウザ・ウィンドウでアイテムを表示するリンク

11. 「完了」をクリックします。

新しいアイテムが、フォルダ内の既存のアイテムと異なる領域に表示されます。「Quickpicks」領域ではなく、「News (ニュース)」領域が選択されているためです。



4.2.3 データへのアクセス権の追加

Oracle Portal を使用して、企業データにアクセスするためのアプリケーションを作成できます。作成したアプリケーションは、コンポーネント領域に追加してユーザーが利用できるようにします。

注意：アプリケーションを作成できるのは、アプリケーション開発者に限られます。アプリケーション開発者でない場合は、他のアプリケーション開発者が作成したアプリケーションを追加できます。

ここでは、IT 部門が作成した Healthy Living 社員部門別レポートを、Healthy Living の社員が利用できるようにします。

1. フォルダ・ダッシュボードで、「アイテムを追加」をクリックします。
2. 「要素タイプ」リストで、「アプリケーション・コンポーネント」が選択されていることを確認します。

アイテムのプロパティ

このフォルダに追加するアイテムのタイプを選択し、「次へ」をクリックします。

アイテム・タイプ

3. 「次へ」をクリックします。
4. 「Regular Items (標準アイテム)」ラジオ・ボタンが選択されていることを確認します。
5. 「アプリケーション・コンポーネント」リストで、「TUTORIAL30_APPLICATION:TUTORIAL_HRREPORT」を選択します。
6. 「表示名」フィールドに、<YourName> View Employees by Department と入力します。
7. 「カテゴリ」リストで、「一般」が選択されていることを確認します。

フォルダ領域

このアイテムを表示する領域の名前の隣にあるラジオ・ボタンをクリックします。

<input type="radio"/> Quickpicks
<input type="radio"/> Announcements
<input type="radio"/> Sub-folders
<input type="radio"/> News
<input checked="" type="radio"/> Regular Items

プライマリアイテム属性

アイテムがクリックされたときに実行されるコンポーネントを入力します。フォルダ領域に表示されるアイテムのリンク・テキストの表示名を入力します。アイテムの内容を最もよく表すカテゴリを選択し、説明を入力します。

アプリケーション・コンポーネント

表示名

カテゴリ

8. 「次へ」をクリックします。
9. 「パースペクティブ」リストで、「Employee」を選択します。
10. ➤ をクリックします。

アイテムを**パースペクティブ**に割り当てると、関連するアイテムかどうかを判断する情報がより詳細に表示されます。たとえば、Healthy Living コンテンツ領域には、Supplier、Employee、およびHTMLというパースペクティブがあります。

注意：パースペクティブの詳細は、Oracle Portal のオンライン・ヘルプを参照してください。「検索」フィールドに「パースペクティブ」と入力し、「実行」をクリックします。

セカンダリアイテム属性

このアイテムのパースペクティブを1つまたは複数選択します。イメージ・ファイルの場所を入力し、イメージの配置を選択します。アイテムの検索に使用するキーワードを編集し、作成者名を編集します。アイテムに対して文書管理を設定し、チェックインおよびチェックアウト・プロセスを通じてユーザー間でアイテムを共有できるようにします。また、表示モードでアイテムを非表示にすることも選択できます。

使用可能なパースペクティブ	表示するパースペクティブ
<p>パースペクティブ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> Helen' Associate HTML On Sale PDF Rosie's Associate </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> Employee </div>

11. 「完了」をクリックします。



4.3 アイテムの編集

編集モードでは、各アイテムの左側にツールバーが表示されます。



このツールバーから、編集（）、移動（）、削除（）など、さまざまなアイテム操作を実行するツールにアクセスできます。

「News from CNN」リンクをクリックすると、CNN Web サイトによって Healthy Living コンテンツ領域が上書きされます。ここでは、CNN Web サイトを別のブラウザ・ウィンドウに表示して、ユーザーが Healthy Living コンテンツ領域に簡単に戻れるようにします。

1. CNN アイテムの横にある  をクリックします。
2. 「セカンダリ」タブをクリックします。

- 「新しいブラウザ・ウィンドウでアイテムを表示するリンク」ラジオ・ボタンを選択します。

表示オプション

URLアイテムの結果の表示方法を選択します。表示方法には、ブラウザ・ウィンドウの右のペイン内、アイテムの表示名の下に直接、現在のブラウザ・ウィンドウ(ナビゲーション・バーなし)、または別のブラウザ・ウィンドウがあります。

- フォルダ領域にアイテムを表示するリンク
- フォルダ領域に直接表示されるアイテム
- フル・ブラウザ・ウィンドウでアイテムを表示するリンク
- 新しいブラウザ・ウィンドウでアイテムを表示するリンク

- 「OK」をクリックします。
- さらに、ユーザーが「Corporate Picnic」アイテムをすばやく簡単に検索できるようにします。アイテムにキーワードを追加すると、アイテムを検索したときに検索される可能性が高くなります。

「Corporate Picnic」アイテムの横にある  をクリックします。

- 「セカンダリ」タブをクリックします。
- 「基本検索用キーワード」フィールドに、「event」と入力します。

このキーワードをアイテムに追加すると、ユーザーが「event」という語を検索して実施予定のイベントを調べる場合、「event」という語がアイテムの表示名、説明またはコンテンツに使用されていなくても、アイテムを検索できます。

基本検索用キーワード

- 「OK」をクリックします。
- このキーワードを試してみます。
ナビゲーション・バーの「Search (検索)」フィールドに、「event」と入力します。

 Search 実行

- 「実行」をクリックします。
「event」キーワードを追加したため、「Corporate Picnic」アイテムが返されます。
- タイトル・バナーで、 をクリックしてコンテンツ領域のホーム・ページに戻ります。

4.4 レッソンのまとめ

おめでとうございます。コンテンツ領域へのアイテムの追加が完了しました。これで、次の方法を習得できました。

- コンテンツ領域への、他の Web ページや Web サイトへのリンクの追加
- コンテンツ領域へのテキストの追加
- コンテンツ領域への Oracle Portal アプリケーション・コンポーネントの追加
- アイテムの編集
- フォルダ内でのアイテムの表示方法の変更
- キーワードの追加

アイテムの追加方法の詳細は、Oracle Portal のオンライン・ヘルプを参照してください。

アプリケーション・コンポーネントの構築

推定所要時間: 50分

この章では、Oracle Portal のアプリケーション・コンポーネント（フォーム、レポート、チャート、リンクなど）の構築方法を説明します。

この章では、Oracle Portal のコンポーネント構築機能を理解するために、Healthy Living Wholesalers 社という架空の会社に対して簡単な人事アプリケーションのコンポーネントを作成する手順について説明します。組織内でアプリケーション・コンポーネントの作成を担当するユーザーは、この章の例を使用して手順を確認する必要があります。

この章の内容:

項	場所
5.1 項「始める前に」	5-1 ページ
5.2 項「アプリケーション・コンポーネントの作成」	5-2 ページ
5.3 項「アプリケーション・コンポーネントへのアクセス制御」	5-21 ページ
5.4 項「レッスンのまとめ」	5-22 ページ

5.1 始める前に

この章の例を行うには、Tutorial30 Application に対する「管理」権限が必要です。これらの権限をユーザーに付与する方法は、[A-3 ページの A.6 項「ユーザーに対してチュートリアル・アプリケーションへの「管理」権限を付与する」](#)を参照してください。

Oracle Portal を起動し、ログインする必要があります。この方法については、[1-2 ページの「Oracle Portal の起動とログイン」](#)を参照してください。

5.2 アプリケーション・コンポーネントの作成

コンポーネントとは、データベースに格納されているデータをベースにしたコンテンツを表示する Web ページのことです。コンポーネントの中には、レポートなど、データをグラフィック形式で表示するものがあります。他のコンポーネント（フォームなど）には、データをユーザーが変更できるようにするためのインタフェースがあります。Oracle Portal では、次のコンポーネントを作成できます。

コンポーネント	説明
フォーム	1つ以上のデータベースの表、ビューまたはプロシージャに対するインタフェースを提供します。
レポート	SQL 問合せの結果を表形式で表示します。
チャート	SQL 問合せの結果を棒グラフで表示します。チャートは、表またはビューの少なくとも2つの列をベースにします。1つはチャートの棒グラフの識別に、もう1つはそのチャートの棒グラフのサイズの計算に使用します。
カレンダー	SQL 問合せの結果をカレンダー形式で表示します。問合せには、日付データ型の値を含む、表の列が1つ以上必要です。
動的ページ	ページが要求されるたびに実行される SQL または PL/SQL をベースにして、動的データベース・データを表示します。
XML コンポーネント	XML ページを表示します。
階層	自己参照している表またはビュー（少なくとも表の2つの列が再帰的關係を共有している必要がある）からデータを表示します。階層にはレベルを3つまで含めることができ、組織図内の社員や、Web サイトのメニュー間の階層関係などのデータを表示します。
メニュー	いくつかのオプションで構成される Web ページを表示します。それらのオプションがクリックされると、他のコンポーネント、URL または他のメニューに移動します。
URL コンポーネント	URL のコンテンツを表示します。
フレーム・ドライバ	2つのフレームに分割された Web ページで構成されます。一方のフレーム（ドライビング・フレーム）には、他方のフレーム（ターゲット・フレーム）の内容を取り出すための SQL 問合せが含まれます。
リンク	コンポーネント間を移動するためのハイパーテキスト・リンクを提供します。
値リスト	コンポーネント内のフィールドに対して、選択可能なパラメータを提供します。値リストは、コンボ・ボックスまたはラジオ・ボタンなどの形式で表示できます。

各コンポーネント・タイプごとにそれぞれ別のコンポーネント作成ウィザードがあります。各ウィザードにより、PL/SQL ストアド・プロシージャが作成されます。ストアド・プロシージャが実行されると、コンポーネントを表示する HTML および JavaScript のコードが動的に生成されます。

ここでは、Healthy Living の IT 部門のメンバーとして、人事部門のスタッフが社員情報を管理するためのコンポーネントをいくつか作成します。

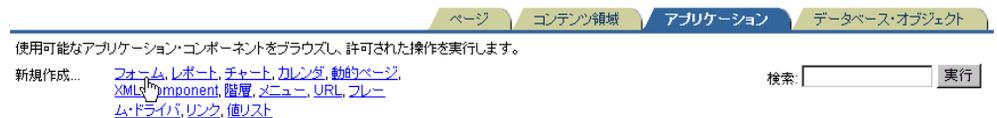
5.2.1 フォームの作成

アプリケーションに最初に含まなければならないコンポーネントは、住所や電話番号など、既存の社員の個人情報を更新するためのフォームです。

1. ショートカット・バーで、 をクリックします。
2. ナビゲータの「アプリケーション」タブが表示されていない場合は、「アプリケーション」をクリックします。
3. ルート・レベルで表示されていない場合は、「パス」の「アプリケーション」をクリックします。
4. 「TUTORIAL30_APPLICATION」をクリックして、チュートリアル用の人事アプリケーションにドリルダウンします。

注意：このアプリケーションが表示されない場合は、ポータル管理者に問い合わせてください。

5. 新規作成の「フォーム」をクリックします。



使用可能なアプリケーション・コンポーネントをブラウズし、許可された操作を実行します。

新規作成... [フォーム](#)、[レポート](#)、[チャート](#)、[カレンダー](#)、[動的ページ](#)、[XMLComponent](#)、[階層](#)、[メニュー](#)、[URL](#)、[フレーム・ドライバ](#)、[リンク](#)、[値リスト](#) 検索:

注意：「フォーム」リンクが表示されない場合は、TUTORIAL30_APPLICATION に対する「管理」権限を持っていない可能性があります。ポータル管理者に依頼して、これらの権限を取得してください。この方法については、[A-3 ページの A.6 項「ユーザーに対してチュートリアル・アプリケーションへの「管理」権限を付与する」](#)を参照してください。

6. 次のタイプのフォームを作成できます。

- **表またはビューをベースとするフォーム**：表またはビューに含まれているデータについて、問合せ、挿入、更新および削除を行うためのフィールドやボタンを表示します。
- **マスター・ディテール・フォーム**：1つのHTMLページ内に、1つのマスター行と複数のディテール行が表示されます。このフォームを使用すると、2つの表またはビューに含まれるデータについて、問合せ、挿入、更新および削除を実行できます。
- **プロシージャをベースとするフォーム**：引数を入力し、それをプロシージャに渡すためのフィールドやボタンが表示されます。

人事部門のスタッフは、このフォームを使用して、特定の表（HLW_STAFF表）のデータを更新します。このため、「表またはビューをベースとするフォーム」をクリックします。

7. 「名前」フィールドに、<YourName>hrform と入力します。

注意：このチュートリアル全体を通じて、名前と表示名の先頭に自分のユーザー名を追加して、作成中のオブジェクトが一意であるようにしておくこと、後で検索しやすくなります。

8. 「表示名」フィールドに、<YourName> Update Employee Details と入力します。

9. 「アプリケーション」リストで、「TUTORIAL30_APPLICATION」が選択されていることを確認します。

フォーム名およびアプリケーション

フォームの名前を入力してから、そのフォームを所有するアプリケーションを選択します。このステップで選べるのは、コンポーネントを構築する権限を付与されているアプリケーションだけです。

名前	<input type="text" value="scotthrform"/>
表示名	<input type="text" value="Scott Update Employee Details"/>
アプリケーション	<input type="text" value="TUTORIAL30_APPLICATION"/>

10. 「次へ」をクリックします。

11. 「表またはビュー」フィールドに、<demo_schema>.hlw_staff と入力します。demo_schema は、Oracle Portal のデモがインストールされているスキーマの名前です。

注意: デモ・スキーマの名前が不明な場合は、ポータル管理者に問い合わせてください。

表またはビュー

フォームの元となる表またはビューを選択します。このステップでは、前のステップで選択したアプリケーションからアクセス可能な表およびビューを選択できます。

表またはビュー 

12. 「次へ」をクリックします。
13. 「表」ラジオ・ボタンが選択されていることを確認します。

表のレイアウトを設定するときに、ウィザードのオプションを使用して、フォームのレイアウトを定義できます。カスタム・レイアウトを使用した場合は、独自の HTML コードを作成し、フォームのレイアウトをユーザー自身で管理できます。

フォーム・レイアウト

フォームのレイアウトを選択します。表のフォームは、フォーム・ウィザードで選択したオプションに基づきます。カスタム・フォームは、ウィザードの後のステップで入力する HTML コードに基づきます。

- 表
 カスタム

14. 必要な情報をすべて入力しました。ウィザードによって、残りのプロパティにデフォルトが適用されます。「完了」をクリックし、作成した新しいフォームを確認してください。

「コンポーネントの管理」ページが表示されます。このページで、編集、削除、コピー（「管理」タブ）、アクセスの定義（「アクセス」タブ）など、必要な作業をそのコンポーネント上で実行できます。

15. 「開発」タブで、「実行」をクリックします。

Scott Update
Employee Details

挿入 問合せ リセット

Employeeid
Name
Employeegender
Job
Emailid
Userid
Hiredate
Annualsalary
Commission
Managerid
Departmentno
Regionid
Budget
Vacationdays
Employeeaddress
Employeecity
Employeezip
Employeeestate
Employeeephone
Ccrid
Maritalstatus

挿入 問合せ リセット

Company Name/Logo

このフォームは、一部を変更すると、より使いやすくなります。たとえば、このフォームではデータの問合せと更新のみ実行できればいいのですが、このフォームの一番上と一番下には「挿入」ボタンが表示されています。つまり、実際には必要ないフィールドが含まれており、フィールド・ラベルもわかりやすくありません。このため、フォームを編集し、いくつか変更を加えます。

16. このフォームが表示されているブラウザ・ウィンドウを閉じます。
17. 「コンポーネントの管理」ページの「開発」タブで、「編集」をクリックします。

18. 最初に、必要のないボタンをこのフォームから削除します。

次のボタンをこのフォームから削除するために、左フレームで  をクリックして「OK」をクリックします。

- INSERT_TOP
- DELETE_TOP
- INSERT_BOTTOM
- DELETE_BOTTOM

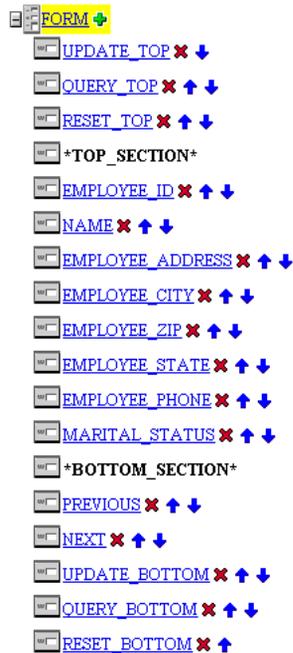
19. HLW_STAFF 表の一部の列は、このフォームへの表示に適していません。たとえば、変更される可能性がないデータの列 (EMPLOYEE_GENDER や HIRE_DATE) や、更新されるときに別のコンポーネントが使用される列が存在します。つまり、MANAGER_ID、DEPARTMENT_NO、REGION_IDなどを更新するときや、社員が別の部門に異動するときは、別のフォームが使用されることがあります。ここでは、必要のない列を削除します。

次の列をこのフォームから削除するために、左フレームで  をクリックして「OK」をクリックします。

- JOB
- EMPLOYEE_GENDER
- EMAIL_ID
- USER_ID
- HIRE_DATE
- ANNUAL_SALARY
- COMMISSION
- MANAGER_ID
- DEPARTMENT_NO
- REGION_ID
- BUDGET
- VACATION_DAYS
- CCR_ID

注意: フィールドは、列をベースとしてフォームから削除されます。基になる表からそれらの列が削除されることはありません。

20. 次の列が残ります。



21. フィールド・ラベルには、ウィザードによって列名をベースとしたデフォルト名が付けられています。ほとんどの場合、これらのラベル名をわかりやすく変更するとよいでしょう。空白を含めるために、書式設定することもあります。

左フレームで、「EMPLOYEE_ID」をクリックします。

22. 「ラベル」フィールドに、Employee Id と入力します。

表示オプション

ラベル	Employee Id
リンク	

フォント
 フォント色
 フォント・サイズ

ブラウザのデフォルト
赤
12pt

23. (オプション) 残りのフィールド・ラベルを次のように変更します。

現在のフィールド・ラベル	新しいフィールド・ラベル
Name	Full Name
Employeeaddress	Address
Employeecity	City
Employeezip	Zip Code
Employeeestate	State
Employeeephone	Phone No
Maritalstatus	Marital Status

24. この時点で、State フィールドと Zip Code フィールドの順序が間違っています。State は、Zip Code の前に配置する必要があります。ここでは、この問題を修正します。

左フレームで、「EMPLOYEE_STATE」の横にある  をクリックして、State フィールドを Zip Code フィールドの上に移動します。

25. また、空白を保持するために、State フィールドと Zip Code フィールドを同じ行に配置します。

左フレームで、「EMPLOYEE_ZIP」をクリックします。

26. 「新しい行で開始」チェック・ボックスを解除します。

レイアウト・オプション

新しい行で開始

行範囲

列範囲

さらに、他のフィールド・プロパティも変更できます。たとえば、Address フィールドの「入力の幅」を 20 に変更して、住所を入力するための領域を拡張することができます。

27. また、フィールドに色を付けて目立たせることもできます。

左フレームで、「FORM」をクリックします。こうすると、個々のフィールドではなく、フォーム全体のプロパティを変更できます。

28. 「ボックスの背景色」リストで、「薄い青」を選択します。

29. 「ボックス境界線」リストで、「細い罫線」を選択します。

フォーム・レベル・オプション

ボックスの背景色	<input type="text" value="薄い青"/>
ボックスの背景イメージ	<input type="text"/>
ボックスの境界線	<input type="text" value="細い罫線"/>

30. フォームの使用方法をユーザーに説明するために、フォーム上に説明文を追加します。

 («フォーム・テキスト») タブをクリックします。

31. 「ヘッダー・テキスト」に、次のテキストを入力します。

Enter the id of the employee that you want to update, then click Query. Change the employee's details as necessary, then click Update.

フォーム・テキスト

フォームの一番上または一番下に表示する説明文を入力します。フォームのタイトルおよびヘルプ・テキストを追加できます。フォームが表示されるページの外観を制御するテンプレートも選択できます。

テンプレート	<input type="text" value="PUBLIC.FINANCE.TEMPLATE1"/>	テンプレートのプレビュー
表示名	<input type="text" value="Scott Update Employee Details"/>	
ヘッダー・テキスト	<input type="text" value="Enter the id of the employee that you want to update, then click Query. Change the employee's details as necessary, then click Update."/>	

このタブを使用して、作成したフォームで使用されるテンプレートを変更することもできます。テンプレートは、コンポーネントが表示されるページの外観を決めるための共有コンポーネントです。テンプレートを使用すると、すべてのコンポーネントにわたって一貫した外観を指定できます。Oracle Portal には、実行に必要なテンプレートがいくつか組み込まれていますが、個々の組織の標準に合わせて独自のテンプレートを作成することもできます。

注意：テンプレートの作成方法については、Oracle Portal のオンライン・ヘルプを参照してください。「検索」フィールドに「テンプレート」と入力し、「実行」をクリックします。

32. フォームに必要な変更がすべて完了したので、「OK」をクリックします。

33. 「コンポーネントの管理」ページの「開発」タブで、「実行」をクリックして、変更した内容を確認します。

Scott Update
Employee Details

Enter the id of the employee that you want to update, then click Query.
Change the employee's details as necessary, then click Update.

問合せ	リセット		
Employee Id	<input type="text"/>		
Full Name	<input type="text"/>		
Address	<input type="text"/>		
City	<input type="text"/>		
State	<input type="text"/>	Zip Code	<input type="text"/>
Phone No	<input type="text"/>		
Marital Status	<input type="text"/>		
問合せ	リセット		

34. このフォームが表示されているブラウザ・ウィンドウを閉じます。

Oracle Portal のフォームを使用して、他にも様々な操作を行うことができます。たとえば、JavaScript のフォーム・レベルやフィールド・レベルで妥当性をチェックしたり、フォームの実行中に様々なタイミングで実行される PL/SQL を指定できます。

注意： Oracle Portal の JavaScript の詳細は、Oracle Portal のオンライン・ヘルプを参照してください。「検索」フィールドに「javascript」と入力し、「実行」をクリックします。

35. 「閉じる」をクリックして、ナビゲータに戻ります。

5.2.2 レポートの作成

人事部門から、社員が所属する部門を確認できるようにしてほしいという要望が寄せられています。この情報を提供するには、部門別社員レポートを作成するのが最良の方法です。ここでは、そのレポートを作成します。

1. 「ナビゲータ」ページが表示されていない場合は、ショートカット・バーで、 をクリックします。
2. 「アプリケーション」タブの「レポート」をクリックします。
3. 次のタイプのレポートを作成できます。
 - **例による問合せ (QBE) レポート**: 表またはビューからデータの問合せ、挿入、更新および削除を行うためのレポートを作成します。
 - **問合せウィザードからのレポート**: レポートに表示されるデータを選択する SQL 問合せの作成など、レポートの作成手順をすべてガイドするウィザードを提供します。
 - **SQL 問合せからのレポート**: レポートの作成手順をガイドするウィザードを提供します。また、レポートに表示されるデータを選択するための、独自の SQL 問合せも作成できます。

このレポートは、データを表示するために使用し、簡単な問合せを必要とします。このため、「問合せウィザードからのレポート」をクリックします。

4. 「名前」フィールドに、<YourName>hrreport と入力します。
5. 「表示名」フィールドに、<YourName> View Employees by Department と入力します。
6. 「アプリケーション」リストで、「TUTORIAL30_APPLICATION」が選択されていることを確認します。

レポート名およびアプリケーション

レポートの名前を入力してから、そのレポートを所有するアプリケーションを選択します。このステップで選べるのは、コンポーネントを構築する権限を保持するアプリケーションだけです。

名前	<input type="text" value="scotthreport"/>
表示名	<input type="text" value="Scott View Employee by Departm"/>
アプリケーション	<input type="text" value="TUTORIAL30_APPLICATION"/>

7. 「次へ」をクリックします。
8. このレポートに必要なデータは、ほとんど HLW_STAFF 表に含まれています。「表またはビュー」フィールドで、<demo_schema>.hlw_staff を選択します。
9. 「追加」をクリックします。

- ただし、各部門の番号以外に、部門の名前も追加する必要があります。このデータは HLW_DEPARTMENTS 表から取得するため、この表もレポートの問合せに追加する必要があります。

「表またはビュー」フィールドで、<demo_schema>.hlw_departments を選択します。

- 「追加」をクリックします。

表およびビュー

レポートの元となる表またはビューを1つ以上選択してから、「追加」をクリックします。このステップでは、前のステップで選択したアプリケーションからアクセス可能な表およびビューを選択できます。



- ここで「完了」をクリックすると、ウィザードによって残りのプロパティにデフォルト値が設定されます。ここでは、詳細に値を指定するために、「次へ」をクリックします。
- HLW_DEPARTMENTS 表の各部門は、固有の番号 (DEPARTMENT_NO) によって一意に識別されます。この番号は、**主キー**と呼ばれます。HLW_STAFF 表の各社員は、部門番号に対応付けられています。つまり、HLW_DEPARTMENTS 表で使用されている番号にマッピングされています。この番号は、**外部キー**と呼ばれます。2つの表の間にはこの関係が設定されているため、社員ごとに正しい部門名を確実に取り出すことができます。

レポートを正しく機能させるために、この関係を**結合条件**としてレポートの問合せに指定する必要があります。

左側の最初の「列」リストで、「HLW_STAFF.DEPARTMENT_NO」を選択します。

14. 右側の最初の「列」リストで、「HLW_DEPARTMENTS.DEPARTMENT_NO」を選択します。

結合条件

相互に接続される表またはビューの列を選択します。デフォルトの結合条件は、自動的に生成されました。下に示す結合条件を受け入れることも、変更することもできます。

列		結合先 列
HLW_STAFF.DEPARTMENT_NO	=	HLW_DEPARTMENTS.DEPARTMENT_NO

15. 「次へ」をクリックします。
16. ここで、レポートに含めるデータを選択する必要があります。人事部門に関する情報は、社員の番号、名前および業務と、部門の番号と名前です。

「使用可能な列」リストから次の列を選択して、 ➤ をクリックします。

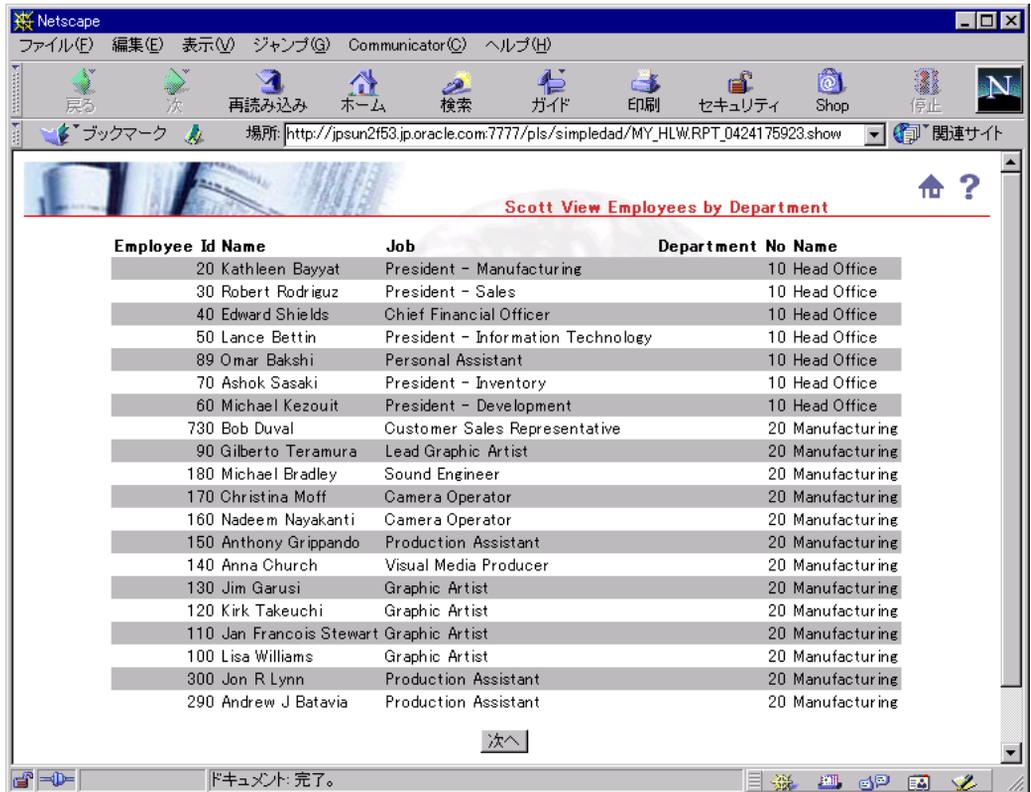
- HLW_STAFF.EMPLOYEE_ID
- HLW_STAFF.NAME
- HLW_STAFF.JOB
- HLW_STAFF.DEPARTMENT_NO
- HLW_DEPARTMENTS.NAME

表またはビュー列

レポートの元となる1つ以上の表またはビュー列を選択します。下のボタンを使用して、1つ以上の表またはビュー列を「列」リストから「選択列」リストに移動します。上または下矢印キーを使用して、レポートに表示する列の順序を設定します。

列		選択列
HLW_STAFF.MANAGER_ID		HLW_STAFF.EMPLOYEE_ID
HLW_STAFF.REGION_ID		HLW_STAFF.NAME
HLW_STAFF.BUDGET	➤	HLW_STAFF.JOB
HLW_STAFF.VACATION_DAYS		HLW_STAFF.DEPARTMENT_NO
HLW_STAFF.EMPLOYEE_ADDRESS		HLW_DEPARTMENTS.NAME
HLW_STAFF.EMPLOYEE_CITY	◀	
HLW_STAFF.EMPLOYEE_ZIP		
HLW_STAFF.EMPLOYEE_STATE		
HLW_STAFF.EMPLOYEE_PHONE		
HLW_STAFF.CCR_ID	➤➤	
HLW_STAFF.MARITAL_STATUS		
HLW_DEPARTMENTS.DEPARTMENT_NO		
HLW_DEPARTMENTS.LOCATION	◀◀	

17. 残りのプロパティでは、デフォルト値を受け入れます。「完了」をクリックして、「コンポーネントの管理」ページを表示します。
18. 「コンポーネントの管理」ページの「開発」タブで、「実行」をクリックします。

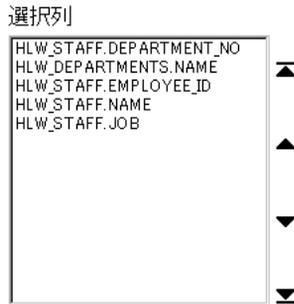


フォームの場合と同様に、作成したレポートは、一部を変更すると、より使いやすくなります。たとえば、部門番号と部門名は、行ごとに繰り返す必要がありません。また、ユーザーが必要な情報を簡単に検索できるように、行と列の順序を微調整する必要があります。このため、このレポートを編集し、いくつかの変更を加えます。

19. このレポートが表示されているブラウザ・ウィンドウを閉じます。
20. 「コンポーネントの管理」ページの「開発」タブで、「編集」をクリックします。
21. まず、部門情報が最初に表示されるように、レポート内の列の順序を変更します。

 («表またはビュー列») タブをクリックします。

22. ▲ ボタンと ▼ ボタンを使用して、次のように列を並べ替えます。



23. 同じ値が繰り返して表示されないようにするには、このレポートに対して**ブレイク・オプション**をいくつか指定する必要があります。
-  («表示オプション») タブをクリックします。
24. 「列の第 1 ブレイク」リストで、「HLW_STAFF.DEPARTMENT_NO」を選択します。
25. 「列の第 2 ブレイク」リストで、「HLW_DEPARTMENTS.NAME」を選択します。

ブレイク・オプション

1~3列の値で、レポートをブレイクするかどうかを選択します。

ブレイク・スタイル	<input type="text" value="左ブレイク"/>
列の第1ブレイク	<input type="text" value="HLW_STAFF.DEPARTMENT_NO"/>
列の第2ブレイク	<input type="text" value="HLW_DEPARTMENTS.NAME"/>
列の第3ブレイク	<input style="border: 1px solid black;" type="text" value="%"/>

26. 特定の列でレポートをブレイクする場合は、それらの列に基づいてこのレポートを並べ替える必要があります。
- 「順序基準」リストで、「HLW_STAFF.DEPARTMENT_NO」を選択します。
27. 最初の「次の順序基準」リストで、「HLW_DEPARTMENTS.NAME」を選択します。
28. 部門内の社員を検索しやすくするには、このレポートをさらに社員の ID に基づいて並べ替えます。
- 2 番目の「次の順序基準」リストで、「HLW_STAFF.EMPLOYEE_ID」を選択します。

行順序オプション

レポート内の行のソートに使用する値を含む列を選択します。

順序基準	HLW_STAFF.DEPARTMENT_NO	昇順
次の基準	HLW_DEPARTMENTS.NAME	昇順
次の基準	HLW_STAFF.EMPLOYEE_ID	昇順
次の基準	%	昇順
次の基準	%	昇順
次の基準	%	昇順

29. フォームの場合と同様に、このタブを使用してレポートに色や境界線を追加することもできます。ここでは、必要な変更がすべて完了したので、「OK」をクリックします。
30. 「コンポーネントの管理」ページの「開発」タブで、「実行」をクリックして、変更した内容を確認します。

The screenshot shows a Netscape browser window with the following address bar: `場所: /jpsun2153.jp.oracle.com:7777/pls/simpledad/MY_HLWSCOTTHREREPORT.show`

The report content is as follows:

Department No	Name	Name	Employee Id	Job
10 Head Office	Kathleen Bayyat		20	President - Manufacturing
	Robert Rodriguz		30	President - Sales
	Edward Shields		40	Chief Financial Officer
	Lance Bettin		50	President - Information Technology
	Michael Kezouit		60	President - Development
	Ashok Sasaki		70	President - Inventory
20 Manufacturing	Omar Bakshi		89	Personal Assistant
	Gilberto Teramura		90	Lead Graphic Artist
	Lisa Williams		100	Graphic Artist
	Jan Francois Stewart		110	Graphic Artist
	Kirk Takeuchi		120	Graphic Artist
	Jim Garusi		130	Graphic Artist
	Anna Church		140	Visual Media Producer
	Anthony Grippando		150	Production Assistant
	Nadeem Nayakanti		160	Camera Operator
	Christina Moff		170	Camera Operator
	Michael Bradley		180	Sound Engineer
	Maik Gilchrist		190	Director
	Kenneth R Marjanovic		210	Production Assistant
	Forrest Norris		230	CBT Technician

At the bottom of the report, there is a button labeled "次へ".

31. このレポートが表示されているブラウザ・ウィンドウを閉じます。

Oracle Portal には、他にも様々なレポート機能があります。たとえば、書式条件を適用してデータの値を基準にレポート内の情報の外観を変更したり、**カスタマイズ・フォーム**を追加できます。カスタマイズ・フォームを使用すると、問合せ結果を各ユーザーの要件に合わせて絞り込むことができます。

注意: レポートの作成方法の詳細は、Oracle Portal のオンライン・ヘルプを参照してください。「検索」フィールドに「レポート」と入力し、「実行」をクリックします。

32. 「閉じる」をクリックして、ナビゲータに戻ります。

5.2.3 チャートの作成

人事部門からの最後の要望は、各部門の給与支払額を出力するコンポーネントです。この種の情報を表示するときは、チャートが最も適しています。

1. 「ナビゲータ」ページが表示されていない場合は、ショートカット・バーで、 をクリックします。
2. 「アプリケーション」タブの「チャート」をクリックします。
3. 次のタイプのチャートを作成できます。
 - **問合せウィザードからのチャート:** レポートに表示されるデータを選択する SQL 問合せの作成など、チャートの作成手順をすべてガイドするウィザードを提供します。
 - **SQL 問合せからのチャート:** チャートの作成手順をガイドするウィザードを提供します。レポートに表示されるデータを選択するための、独自の SQL 問合せも作成できます。

このチャートでは簡単な問合せを必要とします。このため、「問合せウィザードからのチャート」をクリックします。

4. 「名前」フィールドに、<YourName>hrchart と入力します。
5. 「表示名」フィールドに、<YourName> View Salary per Department と入力します。

- 「アプリケーション」リストで、「TUTORIAL30_APPLICATION」が選択されていることを確認します。

チャート名およびアプリケーション

チャートの名前を入力してから、そのチャートを所有するアプリケーションを選択します。このステップで選べるのは、コンポーネントを構築する権限を付与されているアプリケーションだけです。

名前	<input type="text" value="scotthchart"/>
表示名	<input type="text" value="Scott View Salary per Departmen"/>
アプリケーション	<input type="text" value="TUTORIAL30_APPLICATION"/>

- 「次へ」をクリックします。
- 「表 / ビュー」フィールドに、<demo_schema>.hlw_staff と入力します。

表またはビュー

チャートの元となる表またはビューを選択します。このステップでは、前のステップで選択したアプリケーションからアクセス可能な表およびビューを選択できます。

表ビュー	<input type="text" value="MY_HLW.HLW_STAFF"/>
------	---

- 「次へ」をクリックします。
- 「ラベル」リストで、「DEPARTMENT_NO」を選択します。
「ラベル」フィールドに指定した列の値は、チャートの軸に沿って表示されます。
- 「値」リストで、「ANNUAL_SALARY」を選択します。
「値」フィールドに指定した列の値は、チャートの棒の長さを計算するために使用されます。

- 「集計関数」リストで、「SUM」を選択します。

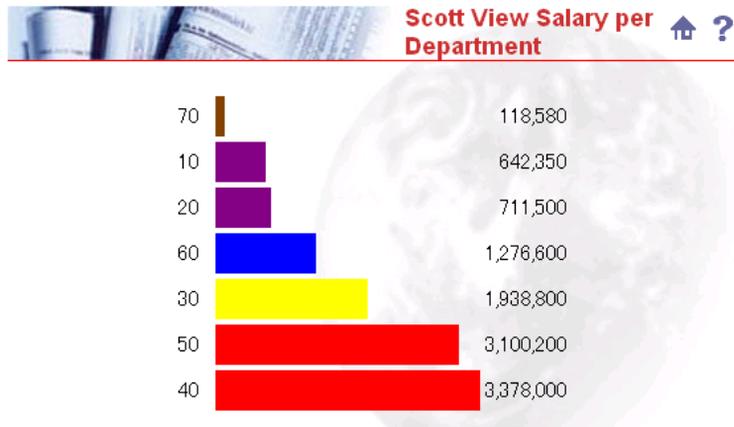
集計関数は、「ラベル」列の一意の値を基準にして「値」列の値を集計します。この場合、集計関数は部門別の給与合計を計算します。

表またはビュー列

チャートに表示するデータを保持する1つ以上の表またはビュー列を選択します。リンク・パラメータを設定するには、をクリックします。

ラベル	DEPARTMENT_NO
リンク	% 
値	ANNUAL_SALARY
集計関数	SUM

- 「完了」をクリックすると、残りのプロパティにデフォルト値が設定され、「コンポーネントの管理」ページが表示されます。
- 「コンポーネントの管理」ページの「開発」タブで、「実行」をクリックします。



- このチャートが表示されているブラウザ・ウィンドウを閉じます。

必要に応じて、ここで前の手順に戻り、このチャートを編集することができます。たとえば、チャートの棒を「値」列ではなく「ラベル」列に基づいて並べ替えるなどの変更を加えたり、カスタマイズ・フォームを追加できます。

注意：チャートの作成方法の詳細は、Oracle Portal のオンライン・ヘルプを参照してください。「検索」フィールドに「チャート」と入力し、「実行」をクリックします。

- 「閉じる」をクリックして、ナビゲータに戻ります。

5.3 アプリケーション・コンポーネントへのアクセス制御

コンポーネントの作成が完了しました。さらに、これらのコンポーネントに対して、他のユーザーがアクセスおよび対話処理を行えるようにする必要があります。

「View Salary per Department」チャートに表示される給与情報は、特に機密性の高いものです。この情報へのアクセスは、人事部門のメンバーのみに限定する必要があります。ここでは、HLW_HR グループのメンバーのみがこのチャートを実行できるようにします。

1. 「ナビゲータ」ページが表示されていない場合は、ショートカット・バーで  をクリックします。
2. 「<YOURNAME>HRCHART」の行で、「アクセス権限付与」操作をクリックします。
3. 「アプリケーションから権限を継承」チェック・ボックスのチェックを外します。

権限モード

アプリケーションからコンポーネントに権限を継承するには「アプリケーションから権限を継承」をチェックします。アプリケーションから独立してコンポーネント固有の権限を定義するには「アプリケーションから権限を継承」のチェックを外します。

アプリケーションから権限を継承

4. 「適用」をクリックします。
5. このチャートの実行権限を HLW_HR グループに付与します。
「ユーザー / ロール」フィールドに、HLW_HR と入力します。
6. 「ユーザー / ロール」フィールドの横にあるリストで、「実行」が選択されていることを確認します。

アクセス権限の付与

権限を付与するユーザーまたはグループの名前を入力するか、「」をクリックしてユーザーの選択または「」をクリックしてグループの選択を実行します。次に、付与する権限レベルを選択して「追加」をクリックします。



このスクリーンショットは、権限付与のUIの一部を示しています。左側には「ユーザー / ロール」というラベルが縦向きに配置されています。その右側には、テキスト入力フィールドがあり「HLW_HR」と入力されています。入力フィールドの右には、ユーザーアイコンとグループアイコンのボタンがあります。さらに右には、「実行」というラベルと下向き矢印のドロップダウンメニューがあります。最右端には「追加」というボタンがあります。

7. 「追加」をクリックします。

アクセス権限の変更

ユーザーまたはグループに付与されている権限のレベルを変更するか、「✖」をクリックしてユーザーまたはグループの権限を取り消します。

ユーザー/ロール	タイプ	権限
✖ HLW_HR	GROUP	実行
✖ SCOTT	USER	管理

8. 「閉じる」をクリックして、ナビゲータに戻ります。

5.4 レッソンのまとめ

おめでとうございます。アプリケーションを作成し、そのアプリケーションへのアクセス権をユーザーに付与しました。これで、次の方法を習得できました。

- 表をベースとしたフォームの作成
- 問合せウィザードを使用したレポートの作成
- 問合せウィザードを使用したチャートの作成
- コンポーネントへのアクセスの提供

Oracle Portal のアプリケーション・コンポーネントを使用して実行できる処理の詳細な例は、マニュアル『Oracle Portal ポータル構築ガイド』を参照してください。

アプリケーション・コンポーネントの作成に関する他の情報は、Oracle Portal のオンライン・ヘルプを参照してください。

チュートリアルの設定

この付録では、チュートリアル環境の設定方法や、チュートリアルを行うユーザーへの適切な権限の割当て方法について説明します。ユーザー・アカウントがない場合は、作成する必要があります。

注意：ユーザー・アカウントの作成方法については、Oracle Portal のオンライン・ヘルプを参照してください。「検索」フィールドに「ユーザー・アカウントの作成」と入力し、「実行」をクリックします。

次の設定作業を行うには、ポータル管理者である必要があります。

A.1 デモ用のスキーマ、コンテンツ領域およびアプリケーションのインストール

このチュートリアル内の例では、デモ用のスキーマ、コンテンツ領域およびアプリケーションを使用します。これらのデモのインストール・スクリプト（英語版）は、<http://otn.oracle.co.jp/> から入手できます。これらのサンプルをインストールするには、インストール・スクリプトと同じ Zip ファイルに入っている Read Me ファイルの指示に従ってください。

A.2 HLW_EMPLOYEE ユーザーの作成

チュートリアルの一部の例では、HLW_EMPLOYEE というユーザーにアクセス権限が付与されます。これらの例を行うには、このユーザーを作成しておく必要があります。

1. Oracle Portal のホーム・ページで、「管理」タブをクリックします。
2. 「ユーザー」ポートレットで、「新規ユーザーの作成」をクリックします。
3. 「ユーザー名」フィールドに、HLW_EMPLOYEE と入力します。
4. 「パスワード」フィールドに、HLW と入力します。
5. 「パスワードの確認」フィールドに、HLW と入力します。

6. 「新規作成」をクリックします。
7. 「閉じる」をクリックします。

A.3 HLW_HR グループの作成

チュートリアルの一部の例では、HLW_HR というグループにアクセス権限が付与されます。これらの例を行うには、このグループを作成しておく必要があります。

1. Oracle Portal のホーム・ページで、「管理」タブをクリックします。
2. 「グループ」ポートレットで、「新規グループの作成」をクリックします。
3. 「名前」フィールドに、HLW_HR と入力します。
4. このグループはチュートリアルでしか使用されないため、メンバーを追加する必要はありません。このため、「完了」をクリックします。

A.4 ユーザーを Tutorial コンテンツ領域のコンテンツ領域管理者に割り当てる

第3章「コンテンツ領域の管理」の例を行うには、Healthy Living Tutorial コンテンツ領域のコンテンツ領域管理者である必要があります。

1. Oracle Portal のホーム・ページで、 をクリックします。
2. ナビゲータの「コンテンツ領域」タブが表示されていない場合は、「コンテンツ領域」をクリックします。
3. ルート・レベルで表示していない場合は、「パス」の「コンテンツ領域」をクリックします。
4. 「Healthy Living Tutorial」行で、「プロパティの編集」をクリックします。
5. 「アクセス」をクリックします。
6. 「ユーザー / ロール」フィールドに、コンテンツ領域管理者に任命するユーザーのユーザー名を入力します。
7. 権限のリストで、「管理」が選択されていることを確認します。
8. 「追加」をクリックします。
9. 「OK」をクリックします。

A.5 ユーザーに対して、Tutorial コンテンツ領域の For Our Employees フォルダへの「アイテムの管理」権限を付与する

第4章「コンテンツ領域へのアイテムの追加」の例を行うには、Healthy Living Tutorial コンテンツ領域の「For Our Employees」フォルダに対する「アイテムの管理」権限が必要です。

1. Oracle Portal のホーム・ページで、 をクリックします。
2. ナビゲータの「コンテンツ領域」タブが表示されていない場合は、「コンテンツ領域」をクリックします。
3. ルート・レベルで表示していない場合は、「パス」の「コンテンツ領域」をクリックします。
4. 「Healthy Living Tutorial」行で、「コンテンツ」をクリックします。
5. 「フォルダ」をクリックします。
6. 「For Our Employees」行で、「編集」をクリックします。
7. 「アクセス」をクリックします。
8. 「名前」フィールドに、「アイテムの管理」権限を付与するユーザーのユーザー名を入力します。
9. 「アクセス・リストに追加」をクリックします。
10. このユーザーを示す行で、「アイテムの管理」チェック・ボックスを選択します。
11. 「OK」をクリックします。

A.6 ユーザーに対してチュートリアル・アプリケーションへの「管理」権限を付与する

第5章「アプリケーション・コンポーネントの構築」の例を行うには、チュートリアル用アプリケーションに対する「管理」権限が必要です。

1. Oracle Portal のホーム・ページで、 をクリックします。
2. ナビゲータの「アプリケーション」タブが表示されていない場合は、「アプリケーション」をクリックします。
3. ルート・レベルで表示されていない場合は、「パス」の「アプリケーション」をクリックします。
4. 「TUTORIAL30_APPLICATION」行で、「アクセス権限の付与」をクリックします。
5. 「ユーザー / ロール」フィールドに、「実行」権限を付与するユーザーのユーザー名を入力します。

6. 権限のリストで、「実行」が選択されていることを確認します。
7. 「追加」をクリックします。
8. 「OK」をクリックします。

A.7 アプリケーション・コンポーネントを生成して実行する

1. Oracle Portal のホーム・ページで、 をクリックします。
2. ナビゲータの「アプリケーション」タブが表示されていない場合は、「アプリケーション」をクリックします。
3. ルート・レベルで表示されていない場合は、「パス」の「アプリケーション」をクリックします。
4. 「TUTORIAL30_APPLICATION」行で、「開く」をクリックします。
5. 「TUTORIALHRREPORT」行で、「管理」をクリックします。この時点では、「実行」および「ポートレットとして実行」がリンクされていない状態です。
6. 「管理」タブをクリックします。
7. 「生成」をクリックします。
8. 「開発」タブで「実行」をクリックします。
9. アプリケーション・コンポーネントが表示されていることを確認します。
10. このアプリケーション・コンポーネントが表示されているブラウザ・ウィンドウを閉じます。

用語集

API

Application Program Interface。オペレーティング・システムとアプリケーションとの間、またはホストのアプリケーション・プログラムとクライアントのアプリケーションとの間で機能するソフトウェア・プログラム。

API、オーバーロード型 (API, overloaded)

同じ名前を共有しているが、パラメータの数やタイプが異なる複数の関数またはプロシージャで構成されている。

Cookie

Login Server で使用される。Oracle Portal または関連する外部アプリケーションやパートナー・アプリケーションにログインしようとするユーザーの ID に関する情報が格納される。

Database Access Descriptor (DAD)

HTTP 要求を満たすために、Oracle Portal を Apache リスナーに接続する方法を指定した一連の値。DAD の情報は、ユーザー名 (スキーマと権限も指定する)、パスワード、および接続文字列のパラメータで構成される。

HTML

Hypertext Markup Language の略。タグをベースにした ASCII 言語。コンテンツ、書式、およびインターネット上の Web サーバーにある他のページへのリンクを指定するために使用する。Oracle Portal は、実行時に HTML を生成する PL/SQL プロシージャの集合で構成されている。

HTTP ファンクション (HTTP function)

[ファンクション \(function\)](#) を参照。

interMedia Text

Oracle8i で提供される要旨、テーマおよびテキスト取出しの拡張サービス。コンテンツ領域内のすべてのアイテムのすべての語が、検索基準と照合される。*interMedia* が使用できないか、使用可能な状態になっていない場合、検索基準は各タイトル、説明およびキーワードのみと照合される。

JavaScript

従来は静的だった HTML で動的なコンポーネント生成を実現するために、Netscape 社が開発したスクリプト言語。Oracle Portal では、JavaScript を使って、フォームやカスタマイズ・フォームの入力フィールドの妥当性チェックを行うルーチンを作成できる。また、フォーム上の入力フィールドやボタンに対して、JavaScript イベント・ハンドラを作成することもできる。

Login Server

Login Server を Oracle Portal で使用するように設定すると、シングル・サインオン (SSO) メカニズムが提供される。Oracle Portal ユーザーは、単一のユーザー名とパスワードを使用して、Oracle Portal のみでなく、パートナー・アプリケーションや外部アプリケーションにも安全にログインできる。

mod_plsql ゲートウェイ (mod_plsql gateway)

Web 上での PL/SQL ベースのアプリケーション (Oracle Portal など) の構築および配置をサポートする。データベースに格納されている PL/SQL プロシージャを利用すると、データベース表からデータを取り出し、書式化されたデータや HTML コードを含む HTTP 応答を生成して Web ブラウザに表示できる。

Oracle 接続文字列 (Oracle Connect String)

リモート・データベースの TNS 名の設定に使用するゲートウェイの設定項目。

Oracle ホーム (Oracle home)

Oracle 製品のルート・ディレクトリを示す環境変数。

PL/SQL アイテム (PL/SQL item)

フォルダに追加できるアイテム・タイプの 1 つ。PL/SQL アイテムには、PL/SQL コードのブロックが入る。アイテムの表示名リンクをクリックすると、ブロックが実行される。実行結果が返され、ユーザーのブラウザに表示される。

PL/SQL ファンクション (PL/SQL function)

[ファンクション \(function\)](#) を参照。

PL/SQL フォルダ (PL/SQL folder)

Oracle Portal がサポートしている 4 つのフォルダ・タイプの 1 つ。PL/SQL フォルダには、フォルダが描画されるときに HTML を生成する PL/SQL コードが格納される。「コンテナ・

フォルダ (container folder)」、「検索フォルダ (search folder)」および「URL フォルダ (URL folder)」を参照。

URL アイテム (URL item)

フォルダに追加できるアイテム・タイプの1つ。このコンテンツ領域の内部または外部にある Web ページへのルートを提供するアイテム。ユーザーがアイテムの表示名リンクをクリックすると、そのリンクが参照する Web ページが表示される。

URL フォルダ (URL folder)

このコンテンツ領域の内部または外部にある Web ページへのルートを提供するフォルダ。ユーザーがフォルダ・リンクをクリックすると、そのリンクが参照する Web ページが表示される。「コンテナ・フォルダ (container folder)」、「PL/SQL フォルダ (PL/SQL folder)」および「検索フォルダ (search folder)」を参照。

Web サーバー (Web server)

Web ページを配信するプログラム。

Zip ファイル・アイテム (Zip file item)

1 回の操作で複数のファイルをアップロードする方法。ファイル・システムや Web サイトを複製するときを使用する。フォルダはディレクトリごとに作成し、アイテムはファイルごとに作成する。これらのアイテムは、選択したコンテンツ領域のターゲット・フォルダに格納される。

アイテム

コンテンツ領域のフォルダに入っているコンテンツ (テキスト、ファイル、フォルダ・リンクなど) の基本単位。アイテムは、コンテンツ領域のホスト・データベースに格納される。アイテムの表示名とそのコンテンツ (リンクやファンクション・コールの場合は実行結果) は、Oracle Portal によって自動作成された Web ページに表示される。各アイテムは、基本アイテム・タイプ (カスタム・アイテム・タイプを作成した場合は、カスタム・アイテム・タイプ) として定義する必要がある。Oracle Portal では、アイテム・タイプに基づいて、アイテムの表示および実行方法を識別する。

アイテム ID (item ID)

ローカル・データベース内でアイテムに付けられている ID。アイテム ID の値は、アイテムを PL/SQL プロシージャに渡すために、カスタム・アイテム・タイプ内で使用する。ファンクションは、アイテム ID を使用して、そのアイテムのコンテンツにアクセスする。

アイテム・タイプ (item type)

アイテムのコンテンツや、格納するアイテム情報を定義する。Oracle Portal の基本アイテム・タイプは、ファイル、フォルダ・リンク、イメージ、Java アプリケーション、PL/SQL、テキスト、URL、アプリケーション・コンポーネント、Zip ファイルである。カスタム・アイテム・タイプは、コンテンツ領域管理者が作成するアイテム・タイプで、基本

アイテム・タイプの機能を拡張したり、アイテムに関する追加情報を格納するときに使用する。

アイテムのバージョン制御 (item version control)

バージョン制御 (version control) を参照。

アイテム・レベルのセキュリティ (item level security : ILS)

所定のフォルダに入っている特定のアイテムに対するアクセスを、詳細に管理するためのメカニズム。アイテム所有者には、許可されていないユーザーやグループに対して、アイテムへのアクセス権を明示的に付与する権限が割り当てられる。

値リスト (List of Values : LOV)

開発者がコンポーネントやカスタマイズ・フォームの入力フィールドに選択可能な値を追加できるようにするコンポーネント。エンド・ユーザーは、このリストから入力フィールドの値を1つ以上選択する。1つの値リストを、コンボ・ボックス、ラジオ・ボタンまたはチェック・ボックスなど、いろいろな形式で表示できる。

アプリケーション

Oracle Portal では、リンクによって相互に接続されたコンポーネントのグループのこと。特定の業務ニーズを満たすために設計されている。たとえば、フォームにチャートをリンクすることにより、エンド・ユーザーはチャートに表示されているアイテムに関する詳細レポートにドリルダウンできる。

アプリケーション・コンポーネント・アイテム (application component item)

フォルダに追加できるアイテム・タイプの1つ。Oracle Portal アプリケーション・コンポーネント・アイテムには、チャート、フォーム、レポートなどがある。これらのアイテムは、Oracle Portal のコンポーネント作成ウィザードによって作成され、ホスト・データベースに格納される。ユーザーがアイテムをクリックすると、アプリケーション・コンポーネントが実行され、その結果がユーザーのブラウザに送信される。

一時表領域 (temporary tablespace)

表の行ソートなどの操作の一時表セグメントを作成するために使用するデータベースの領域を割り当てること。

イメージ (image)

ビットマップ・オブジェクトの1つ。コンポーネントまたはコンテンツ領域に保管およびロードし、Web ブラウザを使用して表示できる。Oracle Portal では、JPEG、GIF または PNG タイプのイメージをサポートしている。

イメージ/イメージマップ・アイテム (image/imagemap item)

フォルダに追加できるアイテム・タイプの1つ。ビットマップ・イメージまたはイメージマップ・アイテムを追加できる。ビットマップ・イメージまたはイメージマップ・アイテムは、小さいイメージの集合で、それぞれ別の URL にリンクしている。

ウィザード (wizard)

処理をステップごとにガイドするグラフィカル・インタフェース。Oracle Portal には、アプリケーション、コンポーネント、データベース・オブジェクト、ページ、コンテンツ領域、フォルダ、およびフォルダ内のアイテムを作成するためのウィザードが用意されている。

エクスポート (export)

Oracle Portal スキーマのソース・データをターゲット・スキーマに移動し、後で取り出せるようにする際に行う。たとえば、本番データベースのデータをエクスポートし、エクスポート・ファイル内のすべてまたは一部のデータを開発用データベースにインポートすることができる。

お気に入り (favorite)

「お気に入り」ポートレットのアイテム。頻繁に参照する URL に対して、Oracle Portal の内部または外部からすばやくアクセスすることができる。「お気に入り」ポートレットは、Oracle Portal にログインするユーザーごとに作成される。

お気に入り (interest list)

フォルダ・リンクの一種。許可されたユーザーが選択して「お気に入り」ポートレットに表示する。アクセスがすばやく簡単にできるようになる。

オブジェクト (object)

- 1) データベースにデータを格納するために使用する Oracle Portal 構造。開発者は、Oracle Portal が提供するウィザードを使用して、フォルダ、コンポーネント、ページ、スタイルなどのオブジェクトを作成できる。
- 2) 表などのデータベース・オブジェクト、プロシージャ、Java オブジェクトなど。これらのオブジェクトも、Oracle Portal のウィザードや Oracle データベースのコマンドを使用して作成できる。

親子関係 (parent-child relationship)

[再帰的關係 \(recursive relationship\)](#) を参照。

階層 (hierarchy)

自己参照している表またはビュー（少なくとも表の 2 つの列が再帰的關係を共有している必要がある）からデータを表示するコンポーネント。階層にはレベルを 3 つまで含めることができ、組織図内の社員や、Web サイトのメニュー間の階層関係などのデータを表示できる。

外部アプリケーション (external application)

Oracle Portal の外部にあるアプリケーションで、「外部アプリケーション」ポートレットから起動される。このポートレットを使用してアプリケーションのユーザー名とパスワードを登録しておくこと、Login Server を起動したときにそのアプリケーションに自動的にログインできる。

拡張検索 (advanced search)

コンテンツ領域のユーザーが次の操作を行えるようにする機能。

- 検索文字列のいずれかまたはすべての用語が含まれているコンテンツの検索。
- 現在のコンテンツ領域の外部にある別のコンテンツ領域の検索、またはすべてコンテンツ領域にまたがる検索。
- 検索範囲を特定のフォルダ、カテゴリ、パースペクティブ、アイテム・タイプまたは属性に制限した検索。

interMedia がインストールされ、有効になっている場合は、拡張検索を使用して近似、Soundex、ファジー検索を実行できる。

カスタマイズ・フォーム (customization form)

Oracle Portal コンポーネントに渡す値をエンド・ユーザーが入力するためのページ。エンド・ユーザーは、「カスタマイズ」リンクをクリックすると、コンポーネントのカスタマイズ・フォームを表示できる（作成済みの場合）。

カスタム・アイテム・タイプ (custom item type)

[アイテム・タイプ \(item type\)](#) を参照。

カスタム・フォルダ・タイプ (custom folder type)

[フォルダ・タイプ \(folder type\)](#) を参照。

カテゴリ (category)

コンテンツ領域内のアイテムのグループ。カテゴリを利用すると、アイテムの内容をわかりやすく示すことができる。たとえば、旅行関連のコンテンツ領域には、「地図」、「周遊」、「ホテル案内」というカテゴリを作成する。コンテンツ領域にアイテムを追加するときは、特定のカテゴリに割り当てる必要がある。

カラー・パレット (color palette)

背景、リンク、バナー、およびフォルダ・ページに表示される他のアイテムなど、フォルダ・スタイルの要素に色を設定するために使用する。各色の 16 進値がパレットに表示される。

カレンダー (calendar)

SQL 問合せの結果をカレンダーの書式で表示する Oracle Portal のコンポーネント。問合せ内には、最低 1 つの日付データ型の表の列が必要である。

基本アイテム・タイプ (base item type)

[アイテム・タイプ \(item type\)](#) を参照。

基本検索 (basic search)

コンテンツ領域のユーザーが、現行のコンテンツ領域のアイテム、フォルダ、カテゴリおよびパースペクティブから、文字列を検索する機能。

基本フォルダ・タイプ (base folder type)

[フォルダ・タイプ \(folder type\)](#) を参照。

キャッシュ (caching)

ページ、フォルダまたはコンポーネントの一時記憶域。オブジェクトが要求されるたびに、取出しに関連するパフォーマンス・コストを減らすことを目的としている。ページやフォルダの構造、または構造とコンテンツをキャッシュに格納できる。何も格納しなくてもかまわない。

行 (row)

表に含まれる一連の値。たとえば、SCOTT.EMP 表の 1 人の社員を表す値。

共有オブジェクト (shared objects)

Oracle Portal によって作成されるコンテンツ領域。個人用フォルダ、共有パースペクティブ、共有カテゴリおよび共有カスタム・タイプ（共有属性、共有アイテム・タイプおよび共有フォルダ・タイプ）などのオブジェクトが含まれる。これらのオブジェクトは、すべてのコンテンツ領域で共有できる。

共有コンポーネント (shared components)

Oracle Portal 開発者がコンポーネントを作成するときに使用する構築単位。共有コンポーネントには、JavaScript、色、フォントおよびイメージ定義がある。各共有コンポーネントを使用して、複数の開発者が Oracle Portal のコンポーネントを作成することができる。

許可されたユーザー (authorized user)

Oracle Portal にログインするユーザー。許可されたユーザーは、フォルダやページなどの特定の Oracle Portal オブジェクトを、デフォルトで作成できる。「パブリック・ユーザー (public users)」を参照。パブリック・ユーザーの場合は、ログインはできない。

クラスタ (cluster)

相互に関連し、ディスク上の同じ領域で頻繁に相互結合される表の格納に使用するデータベース・オブジェクト。

グループ (group)

通常は、共通したニーズや関心を共有している Oracle Portal ユーザーの集合。たとえば、人事部門や会計部門など。グループを使用すると、オブジェクト（ページやコンポーネントなど）へのアクセス権を一度に複数のユーザーに簡単に付与できる。

グループの所有者 (group owner)

メンバーをグループに追加または削除したり、グループ自体を削除する権限を持ったユーザー。各グループには、複数の所有者を割り当てることができる。

権限 (privilege)

Oracle Portal 内で操作を実行するための権利。グローバル権限（「ユーザー」または「グループ」ポートレットから設定する）と、特定のオブジェクトに固有の権限（通常はオブジェクトの「アクセス」タブから設定する）がある。アプリケーションを構築するときに、データベース・オブジェクト、共有コンポーネント、コンポーネントおよびアプリケーションへのアクセス権を付与できる。

検索フォルダ (search folder)

Oracle Portal のコンテンツ領域を検索するときに作成されるフォルダ。コンテンツのビューは、対象者ごとに作成される。たとえば、同一カテゴリに属しているすべてのアイテムを検索するための検索フォルダを作成できる。検索フォルダは動的フォルダで、フォルダを描画するたびに更新される。「コンテナ・フォルダ (container folder)」、「PL/SQL フォルダ (PL/SQL folder)」および「URL フォルダ (URL folder)」を参照。

コール・インタフェース (call interface)

コンポーネントが最初に作成されたとき、または最後に編集されたときに選択された引数を表示する。

構造化 UI テンプレート (structured UI template)

Oracle Portal コンポーネントの外観を制御する共有コンポーネント。構造化 UI テンプレートは、そのテンプレートを使用するすべてのコンポーネントで、同じ場所に同じイメージとテキストを表示する。

個人用フォルダ (personal folder)

Oracle Portal 内の領域。許可されたユーザーが、個人用アイテムを格納および共有できる。ポータル管理者は、シングル・サインオン・ユーザー・アカウントの作成時に、ユーザーの個人用フォルダを作成できる。

コンテナ・フォルダ (container folder)

ファイル、テキスト、文書、イメージ、アプリケーション・コンポーネントなどの関連アイテムを格納するためのリポジトリ。「PL/SQL フォルダ (PL/SQL folder)」、「URL フォルダ (URL folder)」および「検索 フォルダ (search folder)」を参照。

コンテンツ協力者 (content contributor)

コンテンツ領域のフォルダにアイテムを追加できるユーザー。つまり、「アイテムの所有」、「アイテムの管理」、「アイテムの表示」または「承認付きで作成」の権限を持っているユーザー。アイテムとフォルダの所有者は、特定のフォルダにアイテムを追加できるユーザーを制御する。

コンテンツ領域 (content area)

Oracle Portal にコンテンツを格納するときに使用される関連情報の集合。コンテンツ領域には、そのコンテンツの管理に必要なツールがすべて含まれている。WebDB 2.x および Oracle Portal 3.0 ベータ版では、「サイト」と呼ばれていた。コンテンツ領域では、コンテンツを編成するフォルダが階層化されている。

コンテンツ領域管理者 (content area administrator)

コンテンツ領域全体に対してすべての権限を持つユーザー。コンテンツ領域管理者は、フォルダ所有者やスタイル管理者の指定、パースペクティブやカテゴリの作成、ユーザーの管理など、コンテンツ領域の設定および管理を行う。また、ユーザーの個人用フォルダも含め、コンテンツ領域上のフォルダをすべて表示できる。

コンテンツ領域ページ (content area page)

コンテンツ領域内のすべてのフォルダに対して、共通の外観を設定するためのページ。標準のナビゲーション・バー、会社のロゴなどのアイテムで構成する。コンテンツ領域管理者が管理する。

コンテンツ領域マップ (Content Area Map)

Oracle Portal のコンテンツ領域内の全フォルダの階層構造を表示する。ユーザーは、このマップを使用してフォルダにアクセスできる。コンテンツ領域マップは、許可されたユーザーごとに調整される。つまり、表示または編集（あるいはその両方）の権限を付与されたフォルダのみが表示される。

コンテンツ領域ログ (content area log)

ユーザーがコンテンツ領域と対話処理を行っている間に収集される、すべてのイベントと関連情報の表。レポートやグラフの形式で統計を生成するときに使用する。

コンポーネント (component)

Oracle Portal のコンポーネント作成ウィザードを使用して作成された PL/SQL のストアード・プロシージャ。たとえば、チャート、レポートまたはフォームなどがある。ストアード・プロシージャを実行すると、そのコンポーネントの表示に使用する HTML コードが作成される。

再帰的關係 (recursive relationship)

ある表の列の値を、同じ表または別の表にある他の列の値に関連付けることができる場合に発生する関係。たとえば、主キーと外部キーの関係。

最近使用したオブジェクト (recent object)

最近表示または編集した Oracle ポートレットのオブジェクト。「最近使用したオブジェクト」ポートレットは、ユーザーごとに作成される。最後にアクセスした n 個のオブジェクトへのリンクが管理される。

サイト (site)

[コンテンツ領域 \(content area\)](#) を参照。

作業環境パス (reference path)

ページ上でポートレットのインスタンスを一意に識別するパス。作業環境パスを使用すると、所定のページ上で個々のポートレットまたはポートレット・グループにパラメータを渡すことができる。

索引 (index)

表に関連付けられるオプションの構造。表の行をすばやく探し出したり、各行が一意であることを保証するために使用する。

サブフォルダ (subfolder)

ネストされたフォルダ。コンテンツ領域のフォルダはすべて、コンテンツ領域のホーム・ページ (ルート・フォルダとも呼ばれる) のサブフォルダになる。

参照済みリンク (visited link)

ブラウザ・セッション中に、ユーザーが少なくとも一度クリックしたことがあることを示すために、未参照リンクとは別の色で表示されるリンク。

システム・パージ (消去) (system purge)

コンテンツ領域内の削除対象または期限切れとなっているアイテムを、すべてデータベースから削除すること。システム・パージは、コンテンツ領域管理者またはポータル管理者が行う。

シノニム (synonym)

表またはビューに割り当てられる名前。以後はその名前を使用して、その表またはビューを参照できる。

主キー (primary key)

表の行を指定するために使用する一意の値からなるデータベース表の列。

順序 (sequence)

表の行番号を自動生成するとき使用するデータベース・オブジェクト。

状態コード (status code)

[バージョン \(version\)](#) を参照。

シングル・サインオン (Single Sign-On)

[Login Server](#) を参照。

スキーマ (schema)

コンポーネントとデータベース・オブジェクトの集合。特定のデータベース・ユーザーが管理する。

スタイル (style)

Oracle Portal のフォルダやページの外観を制御する一連の値とパラメータ。スタイルを複数のフォルダに適用すると、コンテンツ領域内でそれらのフォルダの外観を制御できる。また、スタイルを1つのフォルダのみに適用することもできる。ページ・スタイルは、常にページごとに適用される。スタイル・マネージャを使用してコンテンツ領域に作成したスタイルは、フォルダ、バナーおよびナビゲーション・バーに適用される。ただし、ページ・スタイルは、ページにのみ適用される。

スタイル管理者 (style administrator)

特定のページ・スタイルやフォルダ・スタイルの表示設定を管理したり、強制する特別な権限を持っているユーザー。

ストアド・プロシージャ (stored procedure)

[プロシージャ \(procedure\)](#) を参照。

スナップショット (snapshot)

リモート・データベース内の1つ以上の表 (マスター表と呼ばれる) への問合せ結果が含まれる表。

スナップショット・ログ (snapshot log)

スナップショットのマスター表に対応付けられている表。マスター表に加えられた変更を追跡する。

生成 (generate)

ランタイムやバッチ・モードで実行できるように、Oracle Portal コンポーネントを含むプロシージャをバイナリ形式でファイルまたはデータベースに保存すること。

セッション (session)

ブラウザと Oracle Portal 間の接続。最初にアクセスしてからログオフまたは切断するまで継続する。最初にアクセスしたときに **パブリック・セッション** として確立されたセッションは、ログインするときに **認証されたセッション** になる。

属性 (attribute)

「作成日」、「有効期限日」、「作成者」など、アイテムまたはフォルダに関する情報が格納される。コンテンツ領域管理者は、独自の属性を作成して、アイテム・タイプやフォルダ・タイプの機能を拡張することができる。

代替タグ (substitution tag)

非構成済み UI テンプレートの作成に使用するタグ。テンプレートを作成する HTML コードの実行時に、代替タグにより、コンポーネント、タイトル、ヘッダーなどの要素が動的にテンプレートに埋め込まれる。

タイトル (title)

[表示名 \(display name\)](#) を参照。

ダイレクト・アクセス URL (direct access URLs)

Oracle Portal の標準のナビゲーション機能を使用せずに、URL を使用してページ、フォルダ、カテゴリ、パースペクティブおよび文書に直接アクセスできるようにする機能。

ダッシュボード (dashboard)

編集モードで表示されるときに、カテゴリ・ページ、パースペクティブ・ページおよびフォルダ・ページの一番上に表示される一連のボタン。カテゴリ、パースペクティブまたはフォルダの作成と管理に使用するすべての編集ツールに、すばやくアクセスできる。

チャート (chart)

SQL 問合せの結果を棒グラフとして表示するコンポーネント。チャートは、少なくとも2つの表またはビューの列がベースになる。1つはチャートの棒グラフの識別に、もう1つはそのチャートの棒グラフのサイズの計算に使用する。

データベース・オブジェクト (database object)

[オブジェクト \(object\)](#) を参照。

データベース管理者 (database administrator : DBA)

DBA グループに属している Oracle Portal ユーザー。デフォルトでは、DBA グループのメンバーは、Oracle Portal 製品のすべてのページにアクセスでき、ページ、コンテンツ領域、アプリケーションおよび管理に対する「管理」権限を持っている。

データベース・ユーザー・アカウント (database user account)

[スキーマ \(schema\)](#) を参照。

テーマ (theme)

interMedia Text のテーマは、その文書の内容を説明するスナップショットになる。文書を検索するときに、特定の語句を検索するかわりに、特定の主題を検索することもできる。このとき、文書中にその主題が明示的に記述されている必要はない。テーマを問い合わせると、要求した主題に関連する文書のリストと、その主題の参照度の文書別スコアが返される。

ディレクトリ (directory)

[ポータル・ディレクトリ \(portal directory\)](#) を参照。

テキスト・アイテム (text item)

フォルダに追加できるアイテム・タイプの1つ。テキスト・アイテムを作成するときは、アイテム・ウィザードでテキスト (最大 32KB) を入力する。このテキスト・ブロックは、コンテンツ領域のホスト・データベースに格納される。ユーザーが表示名リンクをクリックすると、そのテキストがユーザーの Web ブラウザに表示される。

問合せ (query)

SQL の SELECT 文。データベースの1つ以上の表またはビューから取り出すデータを指定する。

動作ログ (activity log)

Oracle Portal コンポーネントに対するエンド・ユーザーからの要求が記録されるデータベース表。ログには、要求の時刻、要求を発行したユーザー名、および要求元のマシンとブラウザのタイプに関する情報が記録される。

トリガー (trigger)

表に対応付けられているデータベース・オブジェクト。指定された1つ以上のイベントの前または後に実行される。

ナビゲーション・バー (navigation bar)

コンテンツ領域内で、頻繁にアクセスする領域や重要な領域に移動するための領域。フレーム対応のブラウザの場合、ナビゲーション・バーは各フォルダ・ページの左側に表示される。フレーム非対応のブラウザの場合、ナビゲーション・バーはページの一番上に表示される。フォルダのナビゲーション・バーに表示するテキスト・リンクやイメージは、そのフォルダの所有者が決定する。ただし、ナビゲーション・バーの要素の中には、サイト・ロゴに使用するイメージやリンク自体のテキストなど、コンテンツ領域管理者が管理するものもある。

ナビゲータ (Navigator)

Oracle Portal オブジェクトの検索や対話処理のためのメカニズム。各ユーザーの認可レベルに合わせて自動的にカスタマイズされる。オブジェクトをすばやく検索するために、「検索」フィールドが用意されている。

ページ (消去) (purge)

[システム・ページ \(消去\) \(system purge\)](#) を参照。

バージョン (version)

Oracle Portal コンポーネントを含むストアド・プロシージャの状態を示す。たとえば、「アーカイブ」は、データベースに保存済みの旧バージョンのコンポーネントを示す。「PRODUCTION with VALID Package (本稼動)」は、エラーなしで実行される最新バージョンのコンポーネントを示す。「PRODUCTION with INVALID Package」は、エラーが含まれている最新バージョンのコンポーネントを示す。同一のコンポーネントの複数バージョンを保管できる。

バージョン制御 (version control)

アイテムの複数バージョンを Oracle Portal データベースに同時に保管できるようにする機能。この機能は、複数のバージョン間の文書の変更を追跡するときや、必要に応じて以前のバージョンに戻るときに使用する。

パースペクティブ (perspective)

カテゴリをまたがってアイテムをグループ化したもの。パースペクティブにより、「このアイテムに関心があるのは誰か」が明確になる。たとえば、世界中の様々な行楽地へのリンクを追加して、「Vacations for Nordic Enthusiasts」、「Archeology Expeditions」および「Extreme Vacations for Adventurers」などのパースペクティブに割り当てることができる。パースペクティブはオプションで指定する。1つのアイテムに複数のパースペクティブを割り当てることができる。

パートナ・アプリケーション (partner application)

Login Server に認証を委任しているアプリケーション。Login Server に登録されているユーザーは、シングル・サインオン・メカニズムを使用してパートナ・アプリケーションにログインできる。

バインド変数 (bind variable)

文が正しく実行されるように有効な値または値のアドレスに置換される SQL 文中の変数。通常、Oracle Portal コンポーネントの開発者は、バインド変数を使用してコンポーネントのカスタマイズ・フォームにパラメータ入力フィールドを表示する。入力フィールドを使用すると、そのコンポーネントによって表示されるデータをエンド・ユーザーが選択できる。

パッケージ (package)

仕様部と本体で構成されるデータベース・オブジェクト。仕様部には、他のプログラム・ユニットから参照できるデータ型とサブプログラムが含まれている。本体には、パッケージの実際のインプリメンテーションが含まれている。

バッチ・ジョブ (batch job)

Oracle Portal のバッチ・ジョブ機能を使用して、コンポーネントをバックグラウンドで実行すること。エンド・ユーザーは、コンポーネントのカスタマイズ・フォームでオプションを選択することにより、コンポーネントをバッチ・モードで実行できる。コンポーネントが大量のデータをベースにしている場合、またはコンポーネントが多数の行のデータを表示する場合に、バッチ処理を利用する。

バナー (banner)

タイトルとオプションのグラフィック要素が含まれる色付きの水平バーで、Oracle Portal のページやフォルダに表示される。バナーは、ページの視覚的な流れを分割し、その下に表示される関連項目を分類するとき使用する。

1つのフォルダに、「メイン」、「サブ」、「領域」、「グループ基準」という4種類のパナーを指定できる。

パブリック・フォルダ (public folder)

ログインしていないパブリック・ユーザーが表示できるコンテンツ領域内のフォルダ。フォルダ所有者またはコンテンツ領域管理者は、フォルダをパブリックとして明示的に指定する必要がある。

パブリック・ユーザー (public user)

Oracle Portal にログインしていないユーザー。ただし、Oracle Portal にアクセスすることはできる。最初に Oracle Portal にアクセスするときは、ログイン権限に関係なく、パブリック・ユーザーとしてアクセスすることになる。パブリック・ユーザーは、パブリックと指定されたコンテンツ領域のフォルダを表示することはできるが、コンテンツを編集することはできない。

パラメータ入力フィールド (parameter entry field)

カスタマイズ・フォーム上のフィールド。エンド・ユーザーは、このフィールドを使用して Oracle Portal コンポーネントに渡す値を入力できる。

バルク・ロード (bulk load)

「Zip ファイル・アイテム (Zip file item)」を参照。

反転イメージ (rollover image)

Oracle Portal のコンテンツ領域のナビゲーション・バーまたは Oracle Portal のページのタブ上で、カーソルがイメージ上を通過したときに表示される別のイメージ。

非構成済み UI テンプレート (unstructured UI template)

Oracle Portal コンポーネントの外観を制御する共有コンポーネント。非構成済み UI テンプレートは、HTML コードをベースにしている。その HTML コードを実行するとき、コンポーネント、タイトル、ヘッダーなどの要素が動的に埋め込まれる。

ビュー (view)

データベースに実際には存在しない行を持つ仮定の表。ただし、この仮定の表は、データベースに物理的に格納されている表をベースにしている。

表 (table)

リレーショナル・データベースの基本的な記憶構造。

表示名 (display name)

Oracle Portal 全体で使用される、オブジェクトの外部名。ナビゲータでは、ページ、フォルダまたはコンポーネント・バナー上でも使用される（変更されていない場合）。オブジェクトがポートレットとして公開されると、「使用可能なポートレット」リストやポートレット・リポジトリでは、表示名がそのポートレットのタイトルとして使用される。

表示モード (View mode)

Oracle Portal のコンテンツ領域の表示や対話処理を行うときの通常モード。「編集モード (Edit mode)」を参照。編集モードは、フォルダやアイテムを管理するときに使用する。

表領域 (tablespace)

オブジェクトを格納できるデータベースの領域を割り当てること。

ファイル・アイテム (file item)

フォルダに追加できるアイテム・タイプの1つ。ファイル・アイテムを追加すると、そのファイルがコンテンツ領域にアップロードされ、ホスト・データベースに格納される。ユーザーが表示名リンクをクリックすると、そのファイルがユーザーのコンピュータにダウンロードされ、ユーザーの Web ブラウザに表示される。

ファンクション (function)

指定された一連の操作を実行した後で値を返す PL/SQL のサブプログラム。通常、ファンクションは、大きめのアプリケーションの範囲内で特定のタスクを実行するために作成された、小規模で非常に特殊なコード・ブロックである。

エンド・ユーザーは、PL/SQL アイテムまたはカスタム・アイテムのタイトルをクリックすることにより、コンテンツ領域でプロシージャやファンクションを実行できる。

フォーム (form)

1つ以上のデータベース表、ビューまたはプロシージャのインタフェースを提供するコンポーネント。

フォルダ

コンテンツ領域内のコンテンツを格納するためのリポジトリ。Oracle Portal では、コンテナ、PL/SQL、URL、検索という4つのフォルダ・タイプがサポートされる。コンテンツ領域のフォルダは、デスクトップ・コンピュータのフォルダに似ており、階層構造で管理される。フォルダには、ナビゲータとコンテンツ領域マップを介してアクセスできる。

フォルダ所有者 (folder owner)

フォルダのコンテンツ (アイテム) の管理を担当するユーザー。フォルダ内のアイテムを追加、編集または削除できる。

フォルダ・タイプ (folder type)

フォルダのコンテンツや、格納するフォルダ情報を定義する。Oracle Portal の基本フォルダ・タイプは、コンテナ、PL/SQL、検索および URL である。カスタム・フォルダ・タイプは、コンテンツ領域管理者が作成する。基本フォルダ・タイプの機能を拡張したり、フォルダに関する追加情報を格納するときに使用する。

フォルダ・パス (folder path)

コロンで区切られた一連のフォルダ参照名で、ルート・フォルダで始まり、オブジェクト・フォルダで終わる。フォルダ・パスは、フォルダ・ページに表示される。フォルダ・パスにより、フォルダの完全なディレクトリ・パスが示され、フォルダ・リンク用の URL が作成される。

フォルダ領域 (folder area)

コンテンツ・アイテムが表示されるフォルダ・ページ上の領域。

フォルダ・リンク・アイテム (folder link item)

フォルダに追加できるアイテム・タイプの1つ。フォルダ・リンクは、コンテンツ領域内の他のフォルダへのルートを提供する。ユーザーがその表示名リンクをクリックすると、そのアイテムから参照しているフォルダがユーザーのブラウザに表示される。

ブックマーク (bookmark)

[お気に入り \(favorite\)](#) を参照。

フレーム・ドライバ (frame driver)

2つのフレームに分割された Web ページで構成されるコンポーネント。一方のフレーム（ドライビング・フレーム）には、もう一方の（ターゲット）フレームの内容を取り出すための SQL 問合せが含まれる。

プロキシ・サーバー (proxy server)

他のサーバーのファイルへのアクセスを提供するサーバー。ローカル・キャッシュまたはリモート・サーバーのファイルを取り出す。

プロシージャ (procedure)

指定された一連の操作を実行する PL/SQL サブプログラム。

プロバイダ (provider)

[ポートレット・プロバイダ \(portlet provider\)](#) を参照。

プロバイダ・レコード (provider record)

ポートレット・プロバイダから返されるレコード。指定したポートレット情報が含まれている。

プロパティ・シート (property sheet)

アイテム属性やフォルダのプロパティが表示される。アイテム・マネージャやフォルダ・マネージャにアクセスする必要はない。

プロファイル (profile)

ユーザーが使用できるシステムおよび Oracle データベースのリソース。

ページ

Oracle Portal で作成するオブジェクト。いくつかのポートレットで構成される。ページを表示するたびに、そのページ用に選択したポートレットとレイアウトに基づいて、ページが自動的に組み立てられ、書式設定される。

ページ・スタイル (page style)

[スタイル \(style\)](#) を参照。

ページ・レイアウト (page layout)

ページに表示される領域の数やそれらの編成方法を定義する。

編集モード (Edit mode)

コンテンツ領域にログインしている許可されたユーザーが、フォルダやフォルダに含まれるアイテムを管理できるようにするモード。編集モードに切り替えるには、フォルダ・ページの右上にある「編集」ボタンをクリックする。「編集」ボタンが表示されない場合は、フォルダにアイテムを追加したり、フォルダのプロパティを変更する権限が、そのユーザーに付与されていないことになる。

ポータル (portal)

コンテンツ領域、ページ、アプリケーション、外部ソースのデータなどの情報セット。1つの場所にまとめられ、「ページ」と呼ばれる共通インタフェースを介してアクセスされる。

ポータル管理者 (portal administrator)

データベース管理者を除き、Oracle Portal で最上位レベルの権限を持つユーザー。ポータル管理者は、Oracle Portal 内のすべての要素を表示および変更できる。たとえば、個人用のフォルダ、ページおよびアプリケーションも表示することができる。ただし、グループに対しては制限されることがある。ポータル管理者は、PORTAL_ADMINISTRATORS グループと PORTAL_PUBLISHERS グループは変更できるが、それ以外のグループについては、グループ所有者に任命されていない限り、変更することはできない。

ポータル・ディレクトリ (portal directory)

Oracle Portal ユーザーに関する情報の一覧を表示する。この情報には、他のユーザーもアクセスできる。ユーザーをこのディレクトリに含めるかどうかは、ポータル管理者が判断する。各ユーザーは、自宅の連絡先情報などの個人情報をこのディレクトリに入れるかどうかを指定できる。

ポートレット

再利用可能な情報コンポーネント。情報ソースを要約したり、情報ソースにアクセスする機能を持つ。ポートレットは、Oracle Portal ページの基本構成要素である。

ポートレット・パブリッシャ (portlet publisher)

オブジェクト（フォルダ、ページ、コンポーネントなど）をポートレットとして公開できるユーザー。このとき、これらのオブジェクトをページに組み込むことができる。

ポートレット・プロバイダ (portlet provider)

ポートレットを管理し、株価、ローカル・ニュース、気象情報などの特別なサービスを提供する製品（iSyndicate や Oracle Portal 自体など）。ポートレット・プロバイダは、登録されているパートナーにコードを提供する。このコードを実行すると、パートナーのポータル・ページにコンテンツがダウンロードされる。パートナーは、このコードを独自の HTML に埋め込んで、Oracle Portal ポートレット用のコンテンツを作成できる。

ポートレット・リポジトリ (portlet repository)

Oracle Portal によって作成されるコンテンツ領域。ローカル・ノードと登録済みのすべてのリモート・ノードで利用できるポートレットが、すべて格納される。ローカル・ノードに新しいプロバイダを登録したとき、またはリモート・ノードを登録して更新を行ったときに、プロバイダとそのポートレットはポートレット・レジストリに自動的に追加される。また、コンテンツ領域のオブジェクトがポータルに公開されると、そのコンテンツ領域（およびそのオブジェクト）はリポジトリにすぐに表示される。

ホーム・ページ (home page)

Oracle Portal にログインしたときに表示されるページ。ポータル管理者は、パブリック・ユーザーに対してこのページを選択する。許可されたユーザーは、独自のページを選択できる。

翻訳 (translation)

別の言語で作成されたコンテンツ領域。コンテンツ領域管理者が翻訳を作成すると、コンテンツ協力者はその言語でコンテンツを追加できる。また、コンテンツ領域のユーザーは、ブラウザの言語を正しく設定すると、そのコンテンツを表示できる。

マスター・ディテール・フォーム (master-detail form)

単一の HTML ページに、マスター表の行と複数のディテール行を表示するコンポーネント。マスター行の値により、問合せ、更新、挿入および削除のために表示されるディテール行が決まる。

メニュー (menu)

Web ページを表示するコンポーネントの 1 つ。エンド・ユーザーがクリックすることによって、他のメニュー、Oracle Portal コンポーネントまたは URL に移動できるオプションが含まれている。

ユーザー・インタフェース (UI) テンプレート (user interface (UI) template)

Oracle Portal コンポーネントの外観を制御する共有コンポーネント。コンポーネントの作成時に UI テンプレートを選択すると、そのコンポーネントが表示されるページのタイトル、

タイトルの背景、他の Web ページへのリンク、背景色および背景イメージが自動的に選択される。

ユーザー / ロール (grantee)

オブジェクトに対する権限を別のユーザーから付与されたユーザー。

有効期限 (expiration period)

アイテムが期限切れになるまでの日数、または期限切れになる日付。アイテムが期限切れになると、そのアイテムの所有者およびコンテンツ領域管理者しかそのアイテムを表示できなくなる。期限切れのアイテムは、期限切れのすべてのアイテムがシステムからパージ（消去）されるときにデータベースから削除される。

要旨 (gist)

interMedia Text の一般要旨とは要約のことで、内容全体を最もよく表すいくつかの文書段落から構成される。一般要旨を使用すると、テキストの主な内容の概要を把握したり、テキストの関心のある内容にのみアクセスできる。

ライブラリ (library)

データベースにまとめて格納される 1 つ以上の PL/SQL プログラム・ユニットの集合。複数のアプリケーションから同時に参照できる。

リモート・データベース (remote database)

個別のマシンで実行されるデータベース。接続文字列やデータベース・リンクを使用して、ネットワーク経由でアクセスできる。

リモート・ノード (remote node)

現在ログインしているノード（ローカル・ノード (local node)）以外の Oracle Portal のインスタンス。

領域 (region)

ページ内の特定の場所。各領域には、独自の仕様を定義する。たとえば、領域内のポートレットの表示方法（行または列）や、行内の他の領域に対する相対的な幅などについて指定する。

リンク (link)

開発者がコンポーネント間のハイパーテキスト・ジャンプを追加できるようにするコンポーネント。

リンク・テキスト (link text)

ホット・テキスト（通常は色付きで表示される）またはハイパー・テキスト。エンド・ユーザーがそのテキストをクリックすると、HTML コードで指定された Web ページが表示される。たとえば、HTML コードでは、` 世界旅行 ` のように指定される。「世界旅行」は、色付きで表示されるリンク・テキストである。エンド・ユーザーがこのリンク・テキストをクリックすると、`www.traveltheworld.com` の Web サイトにジャンプできる。

ルート・フォルダ (root folder)

コンテンツ領域のフォルダ階層の最上位レベル。コンテンツ領域内の他のすべてのフォルダが含まれる。コンテンツ領域のホーム・ページとも呼ばれる。

例による問合せ (QBE) レポート (Query by Example (QBE) report)

エンド・ユーザーがデータベースの表またはビューに問合せを行ったり、値を挿入するインタフェースを提供するコンポーネント。「例による問合せ (QBE) レポート」の入力フィールドは、フォーム作成のベースになっているデータベースの表やビューの列に対応している。

レポート (report)

SQL 問合せの結果を表形式で表示する Oracle Portal のコンポーネント。

ローカル・ノード (local node)

ユーザーがログインする Oracle Portal のインスタンス。各ノードには専用のポートレット・レジストリがあり、このレジストリから Oracle Portal の他のインスタンスにポートレットを提供できる。「リモート・ノード (remote node)」を参照。

ロール (role)

Oracle データベース・ユーザーのグループの 1 つ。データベース・オブジェクトの権限は、この単位で付与したり、取り消すことができる。データベース管理者は、データベース・ユーザーにロールを割り当てて、そのロールに対応付けられている Oracle データベース・オブジェクトの権限を付与する。

ロック (lock)

コンポーネントの編集に自動的に適用される設定。この設定により、他のユーザーはそのコンポーネントを編集できなくなる。

ワイルドカード (wildcard)

Oracle Portal では、パーセント (%) 文字。語句中の単一文字または連続する一連の文字を表すために使用する。

索引

O

Oracle Portal

- 起動, 1-2
- 組み込みポートレット, 2-7
- 終了, 1-12
- 定義, 1-2
- ナビゲータの使用, 1-11
- ヘルプの参照, 1-7
- ホーム・ページ (home page), 1-5
- ログイン, 1-2
- ログオフ, 1-12

あ

アイテム

- URL の追加, 4-3
- アプリケーション・コンポーネントの追加, 4-9
- テキストの追加, 4-6
- フォルダへの追加, 4-2
- 編集, 4-11

アクセス

- アプリケーション・コンポーネント, 5-21
- コンテンツ領域, 3-15
- ページ, 2-9

アプリケーション

- コンポーネントの作成, 5-2
- チャートの作成, 5-18
- フォームの作成, 5-3
- ページへのコンポーネントの追加, 2-6
- レポートの作成, 5-12

アプリケーション・コンポーネント

- アクセス権の提供, 5-21
- 作成, 5-2
- チャートの作成, 5-18

- 定義, 1-2
- フォームの作成, 5-3
- ページへの追加, 2-6
- レポートの作成, 5-12

お

- お気に入りポートレット
- ページへの追加, 2-7

か

- カテゴリ (category)
- 作成, 3-5

く

- 組み込みポートレット
- ページへの追加, 2-7

こ

コンテンツ領域

- URL の追加, 4-3
- アイテムの追加, 4-2
- アイテムの編集, 4-11
- アクセス権の提供, 3-15
- アプリケーション・コンポーネントの追加, 4-9
- カテゴリの作成, 3-5
- スタイルの作成, 3-7
- スタイルの編集, 3-8
- 定義, 1-2
- テキストの追加, 4-6
- ナビゲーション・バーの作成, 3-11
- ナビゲーション・バーへの要素の追加, 3-12

- パースペクティブの作成, 3-6
- フォルダの作成, 3-3

コンポーネント

- アクセス権の提供, 5-21
- 作成, 5-2
- チャートの作成, 5-18
- 定義, 1-2
- フォームの作成, 5-3
- ページへの追加, 2-6
- レポートの作成, 5-12

し

シナリオ, vi

す

スタイル

- 作成, 3-7
- 適用, 3-10
- 編集, 3-8

せ

設定, A-1
前提条件, vi

ち

チャート (chart)

- 作成, 5-18

チュートリアル

- シナリオ, vi
- 設定, A-1
- 前提条件, vi
- 読者, v
- 表記規則, viii

と

読者, v

な

ナビゲーション・バー (navigation bar)

- 作成, 3-11
- 適用, 3-14

- 要素の追加, 3-12

ナビゲータ (Navigator), 1-11

は

パースペクティブ (perspective)

- 作成, 3-6

ひ

表記規則, viii

ふ

フォーム (form)

- 作成, 5-3

フォルダ

- URL の追加, 4-3
- アイテムの追加, 4-2
- アイテムの編集, 4-11
- アプリケーション・コンポーネントの追加, 4-9
- 作成, 3-3
- スタイルの適用, 3-10
- テキストの追加, 4-6
- ナビゲーション・バーの適用, 3-14
- ページへの追加, 2-4

へ

ページ

- アクセス権の提供, 2-9
- アプリケーション・コンポーネントの追加, 2-6
- お気に入りポートレットの追加, 2-7
- 組込みポートレットの追加, 2-7
- 作成, 2-2
- フォルダの追加, 2-4
- ポートレットの追加, 2-4

ヘルプ, 1-7

ほ

ポータル (portal)

- 定義, 1-2

ポートレット

- 定義, 1-2
- ページへの追加, 2-4

れ

レポート (report)
作成, 5-12

